

第2章

市統一テーマ訓練

「感染症対策を踏まえた避難所開設訓練」

ねらい 東日本大震災、令和元年台風19号等の教訓を生かすとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じる

◎「不測の事態への備え」と「不断の備え」を怠らない

◎教職員の避難所開設・運営訓練に関する対応能力の向上・意識啓発に向けた効果的な訓練の実施及び地域との協働，学校・関係機関との連携の強化



市統一テーマ訓練（一般避難者受付の設置，北ノ台小学校）

※本章に掲載した職員からの意見等については，原則として原文のまま掲載しています。ただし，編集の都合上，括弧書きで補足している場合や個人名等に関する記述を省略している場合があります。

2-1 市統一テーマ訓練

「感染症対策を踏まえた避難所開設訓練」の概要

災害発生時には、調布市地域防災計画に基づき、市職員による災害への対応を行います。市役所開庁時には避難所担当職員が、休日・夜間など市役所閉庁時には、初動要員が避難所となる学校に参集し、避難所の開設や運営などの対応を行います。また、令和2年4月から避難所となる学校に勤務している一部の市職員を学校避難所対応職員に指定しています。発災時には避難所担当職員や初動要員とともに避難所の開設や運営などの対応を行います。

このため、調布市防災教育の日では、平成30年度から市統一テーマを定め、市立全小・中学校（大町スポーツ施設を含む。）において、地区協議会等、地域の方と協働による訓練を実施しています（平成30年度及び令和元年度の2年間の市統一テーマは「避難所におけるトイレの確保・管理」と題し、各避難所の災害時のトイレの状況を確認し、災害時に使用するマンホールトイレ・組立トイレの設営訓練を行うとともに、避難所におけるトイレの課題を共有しました）。

◆訓練の概要

市統一テーマ訓練を「感染症対策を踏まえた避難所開設訓練」と題し、発災時における避難所の「円滑な初期対応」を習得するための訓練を行いました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域の方や保護者の参加は中止としました。

▼目的、内容等

実施日時	令和3年4月24日（土）午前9時15分から午後1時30分まで
参加職員	合計588人（各部管理職・避難所担当職員（教育部、市民部、福祉健康部、子ども生活部）・初動要員・学校避難所対応職員490人、教員98人）
訓練の目的	令和元年台風19号の避難所開設時における課題を踏まえるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所開設訓練を実施することで、発災時に円滑・適切に避難所開設・運営が行えるようにする。
訓練の内容	校門・体育館の開錠方法の確認、ペット避難場所の確認、「感染症考慮時における避難所利用計画」による図上訓練、体育館における感染症対策を踏まえた避難所の受付・避難スペース・簡易テント・ベッドの設置、避難所運営本部（教育会館）との通信訓練等を実施

▼タイムスケジュール（例）

時刻	訓練内容	訓練詳細
9:15	市職員集合	<ul style="list-style-type: none"> 各学校集合場所で集合 避難所担当リーダーを中心に自己紹介
9:35	校門開錠方法確認	<ul style="list-style-type: none"> 学校避難所対応職員を中心に校門の開錠方法を確認
9:40	総合案内・ペット避難場所（・防災備蓄倉庫）の場所を確認	<ul style="list-style-type: none"> 避難所利用計画図に記載のある総合案内及びペット避難場所の位置を実際に確認 確認の動線上に防災備蓄倉庫が設置されている場合はあわせて確認
9:50	体育館の開錠方法・特設公衆電話設置場所の確認	<ul style="list-style-type: none"> 学校避難所対応職員を中心に体育館の開錠方法を確認 体育館出入口付近に設置されている特設公衆電話の電話ボックスの場所を確認
10:00	図上訓練	<ul style="list-style-type: none"> 避難所利用計画図を用いて総合案内の場所、各受付・避難場所（一般避難者、要配慮者、発熱者等、ペット）、避難者の動線、避難場所として使用できる教室を確認
10:15	避難所開設訓練・受付訓練	<ul style="list-style-type: none"> A～Cの3班に分かれ体育館で避難所開設訓練を実施 A班：備蓄品の確認及び取出し、一般避難者の受付設置 B班：簡易テント及び簡易ベッドの設置、LED投光器の充電 C班：体育館全体に避難スペース（2m×2m）の設置 避難者役と受付役に分かれ、受付訓練を実施 避難所受付システム検証のため、QRコードを用いたシステム上による受付訓練を実施
12:00	特設公衆電話設置・通信訓練	<ul style="list-style-type: none"> 特設公衆電話用の電話ボックスと電話機を接続 接続した特設公衆電話を用いた通信を実施
12:20	片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用したもの、場所等をアルコール消毒液で消毒しながら片付けを実施
12:45	意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 訓練についての振り返り、意見交換
13:15	本部への終了連絡	<ul style="list-style-type: none"> デジタル防災行政無線を用いて訓練終了する旨を本部へ報告
13:30	訓練終了	

●発災～職員参集

午前8時30分を発災想定時刻とし、調布市職員参集メールにより、次の情報を調布市全職員の携帯電話メールアドレスに発信しました。

「午前8時30分に震度6弱の地震が発生しました。第3非常配備態勢*となりましたので、安否と参集可否を登録し、直ちに参集してください。」

初動要員・避難所担当職員・学校避難所対応職員は、調布市職員参集メールから参集可能時刻を登録し、担当している避難所（学校）に参集しました。

調布市教育会館（教育総務課）では、各避難所からの情報集約や必要事項を連絡するため、避難所運営本部を設置しました。

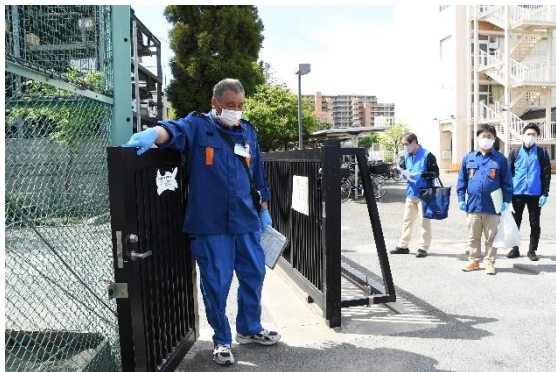
*第3非常配備態勢：調布市の防災大綱である「調布市地域防災計画」に定められている、市職員の配置基準のうち最大レベルの態勢で、調布市において震度6弱以上の地震が発生した場合など、大規模な災害が発生した場合に発令され、全職員が災害対応に当たることとされている。

●校門等の開錠方法の確認～図上訓練

午前9時15分に各校に集合した初動要員，避難所担当職員及び学校避難所対応職員は，校門や体育館の開錠方法を確認するとともに，総合案内やペット避難所となる場所の現地確認を行いました。

続いて，体育館に移動し，図上訓練として，校舎の避難スペースや避難者の動線を記載した避難所利用計画図の確認を行いました。

▼校門開錠方法の確認



▼図上訓練の様子



●避難所開設訓練・受付訓練

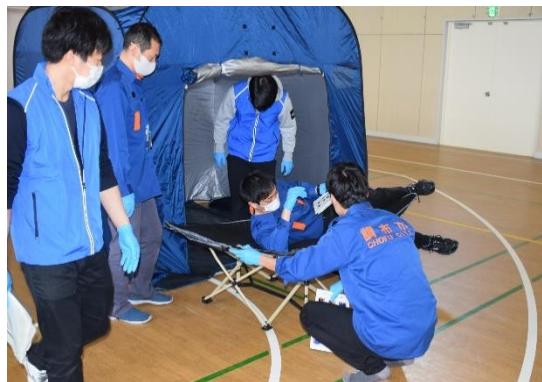
校舎の利用計画を確認した後，全員で防災備蓄倉庫へ移動し，格納されている備蓄品の確認を行いました。確認後は避難所開設に必要な物品を運び出し，体育館に一般避難者用受付や，感染症を考慮した人との間隔を確保した避難スペースを設置しました。

避難所開設が完了した後，避難者役と受付役に分かれ，受付訓練を行いました。受付訓練では，紙の名簿のほか，専用二次元コードを読み取って避難所受付システムに避難者情報を入力しました。避難所運営本部では，システムに入力された情報をもとに，避難所毎の避難者数を把握し，インターネットに避難所の混雑情報を公開する訓練を行いました。

▼感染症対策を踏まえた避難スペース (1区画：2×2m)の設置



▼簡易テント・ベッドの設置訓練



▼感染症対策を踏まえた受付設置・受付訓練
(手指消毒, 検温等)



▼避難所受付システム入力訓練



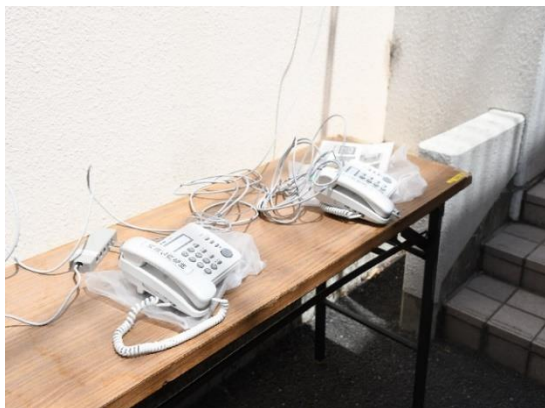
●特設公衆電話設置・通信訓練

災害時には避難者が無料で使える特設公衆電話が各避難所に配備されています。特設公衆電話を実際に設置し、携帯電話への発信を行って通信できることを確認しました。

●防災行政無線を用いた通信訓練

訓練終了後はデジタル防災行政無線を使用して避難所運営本部に訓練終了の旨を報告して現地解散しました。

▼特設公衆電話の設置



▼防災行政無線を用いた通信訓練

(避難所運営本部・教育会館 教育部教育総務課)



2-2 訓練参加職員からの意見と検討の方向性等について

訓練に参加した職員から、以下の意見が出されました。

出された課題を検討し、次回以降の訓練へ反映するなどにより、発災時の迅速かつ適切な対応に繋げることとします。

番号	項目	意見等	検討の方向性等
1	地域との協働・学校等との連携	今回、地域住民との避難所開設訓練は中止となってしまったが、事前段階では、地区協を中心実践的な内容の訓練を入れるとのことであったので、もし予定通り実施していた場合には、さらにさまざまな意見や課題が出ていたと思われる。地域が中心となって考えていることと、行政側で考えていることの間ギャップがあるように感じており、特にこの地域においては、改めて地域と行政が一体となった訓練の実施が必要である。	令和元年台風19号における避難所開設時の課題を踏まえると、避難所の開設・運営については、地域・学校との協働・連携が必要不可欠であると考えています。 発災時は、訓練時のように市職員の人員を十分に確保できない場合も想定されるため、地域の方々と協働による対応が必要となります。 今年度の市統一テーマ訓練は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、当初の予定を急遽変更し、市職員のみで実施したため、訓練の課題等を地域・学校と共有したうえで、課題への対応を検討します。 引き続き、地域・学校と協働・連携した訓練を継続したいと考えています。
2		統一テーマを意識した訓練ができたと思うが、職員のみ参加という状況だったので地域住民目線の意見がもらえなかったところは残念に思う。途中、教員の方も見学に来ていただいた。地域住民・学校・市が一体となり取り組んでいく必要性を感じた。職員だけで訓練を行ったこともあり、途中、時間に余裕がでることもあった。有事の際は地域住民の方をお願いすることが多いことが想定されるため、やはり、地域住民の方も参加した訓練は必要と考えます。また、避難所開設に必要な人数が足りないと感じた。感染症対策となれば更に人数を増やす必要があるのではないかと感じた。	
3		避難所設営、運営は市の職員が主導でとっていても地域の方々の協力がなければ良好な設営、運営は不可能である。また現実的に最初に避難所に到着するのは、地域の方々であり、遅れて到着する少数の市職員が後から指示をするのでは、あたら混乱を招く結果となる。そのため地域の主だった方々にも避難所のあり方やその設営、運営の基本事項は市職員同様の共有が不可欠となる。	
4		強いて挙げるならば、今回、緊急事態宣言で地域の方の参加が急遽中止となったため、次年度も同内容で実施し、地域の方々と一緒に確認する方がより良いと思います。ご検討いただきたいです。	
5		避難所開設時には、職員だけで運営するのは人数的に難しく、地域の方や避難者にも手伝ってもらう必要があると思うため、職員が指示やお願いをできるように、やることや必要な事を理解しておかなければならないと感じた。	
6		被災から避難所開設までには、人手が必要となってくる。早急な開設が望まれるが、総案内と複数の受付、倉庫からの物品の持出しなど、人数が必要となる。リーダーが地域住民に対しても協力要請を行っていく必要があると感じた。	
7		今回は地域住民の参加が中止となったが、災害時は市職員だけでは避難所開設、運営等の対応は困難であり、住民を交えた訓練が必要であると思われる。	
8		今回は実現出来なかったが、この場が、地域住民の方と直接同じ目線で話せる、体験できる、意見交換できるなど貴重な機会であることを再認識した。	
9		また、今回は地域の方の参加はなかったが、いざという時は地域の方をお願いすることも多いので、やはり、一緒に訓練することは重要だと思う。	
10		コロナ禍で、地域の方が参加できなかったが、地域の方が必要であることを認識した。	
11		地区協議会の行っている防災訓練や計画との融合が課題だ。	
12		一昨年の台風19号の際、避難所を開設して実感したことは、地域住民や避難者の手を借りて全体で協力することが何よりも重要であるということだ。実際に体育館の大量の雨漏りを凌いだ経験から、事前に地域と打合せが出来ていれば、混乱を防ぎ、より効率よく運営することが出来たのではと感じていたところ、地区協議会会長から同様のありがたい申し出をいただいた。具体的には、地区協議会では準備態勢ができていたので、事前に役割分担の協議をして協働しようというありがたい内容だった。今後は具体的にできる役割分担等を協議する必要がある。	

番号	項目	意見等	検討の方向性等
13	地域との協働・学校等との連携	今回は新型コロナウイルスの影響で地域住民の参加が叶わなかったが、地域住民に協力をお願いすることもあることから、定期的な意見交換の場を設ける必要はないかと感じた。	令和元年台風19号における避難所開設時の課題を踏まえると、避難所の開設・運営については、地域・学校との協働・連携が必要不可欠であると考えています。 発災時は、訓練時のように市職員の人員を十分に確保できない場合も想定されるため、地域の方々と協働による対応が必要となります。 今年度の市統一テーマ訓練は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、当初の予定を急遽変更し、市職員のみで実施したため、訓練の課題等を地域・学校と共有したうえで、課題への対応を検討します。 引き続き、地域・学校と協働・連携した訓練を継続したいと考えています。
14		今回は、緊急事態宣言直前ということで住民の方の参加がなかったため、時間が大幅に前倒しとなった。実際に避難所を開設し、運営するに当たっては、住民の方の協力が必要であることから、次回はコロナの状況によるが、数名でも住民の方に参加していただいたほうがいいと思った。	
15		基本的な考え方として、現地に遅れて参集するであろう市職員が指導・指示するという考え方に違和感を覚える。やはり、最初に現地に参集する地域の方々が中心となり活動する計画とすべきでないか。市職員はその中の一部として時にはリーダーシップを発揮する場面が必要と考える。	
16		コロナの影響から、学校職員や地域住民との訓練を通じた交流ができなかったことは残念である。顔を知っている者同士の方が、緊急事態の時に不安なく行動を共にすることができると思うので、今後、国内の状況が落ち着いたらそのような機会が持てるよう検討していただきたい。	
17		地域の方に参加いただくことで、より災害時を想定した実践につながるため、今回の経過を課題として生かすべき。	
18		地域住民や学校職員について参加が制限されたことから、次回に改めて参加者に今回の情報を共有できるよう案内できれば良いと思います	
19		参加者へはお話したが、実際の災害時は、避難してきた市民の方々にも動いていただき、主体的に避難所を運営できるよう市職員がリーダーシップをとることが必要であると思われる。その点、今回は市民の方の参加がなかったことは残念であるが、やむを得ないことであり、市職員だけでも確認できたことは有意義であった。	
20		災害時、初動要員や避難所担当職員だけでは避難所運営が厳しい場合がある。住民にも協力して頂くためにも指揮がとれるよう、備品の場所を把握できて良かった。臨機対応に動くことが求められる。	
21		今回コロナの影響により地域の方の参加がなかったが、実際には、職員一人ひとりがその場のリーダーとなって地域の方々と一緒に（指示出しや調整をして）運営していくことを考えると、まだまだ全体の経験不足を感じました。その上で、リーダー・サブリーダー以外の一人ひとりの役割分担を明確にしておく必要があると思います。	
22		避難所運営側として、スムーズに運営するための意見はでていましたが、利用者が参加していなかったこともあり、利用者目線での意見は出ていませんでした。	
23		市職員から意見や要望は出たが、新型コロナウイルスの影響から地域住民の参加がなかったため、住民目線での意見がなかったのは残念だった。	
24		地域住民の参加がなかったこともあり、訓練の緊張感があまり感じられなかった。	
25		地域・学校との協力が重要だと思った。	
26		学校職員の方がいなかったら、わからないことがたくさんあったと思います。	
27		学校職員（用務員）が事前に訓練内容に要する資機材の場所の確認及び、動作確認、及び訓練導線の確保及び整備をしていたことにより、マニュアル通りの訓練内容を迅速かつ丁寧に確認することができた。学校職員の意識の高さを感じた。このことにより参加職員も戸惑うことなく訓練に集中できた。	
28		用務員がいることで学校の実態を踏まえた訓練を実施することができ有意義であった。今後とも継続いただきたい。	
29		前回実施した際の地域住民要望事項について、要望への対応の可否や対応の結果について総合防災安全課から検討いただきましたが、地域住民が参加する際の次回訓練実施時においても、指摘後の対応を説明できるように引き続き検討と対応をお願いしたい。	

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等	
30	事前の研修・説明	事前にリーダー向けの説明会があるとありがたいです。	事前説明会の内容を充実させることで、訓練や実際の発災時に職員が円滑に対応できるようにするとともに、災害時における市職員の役割や、そのことを踏まえた訓練の重要性等について、理解が深まるよう検討します。また、防災教育の日以外にも継続的に地域の方と協働の避難所開設訓練等を実施することで、職員の発生時における対応能力の向上に取り組みます。	
31		今回ははじめての避難所でリーダーで、事前にもう少し手厚い支援がほしかった。		
32		今回の訓練は地域住民の参加がなかったが、住民が参加した場合には、住民から多くの質問が出るのが予想される。そのため、訓練を主導する市職員（特に避難所担当リーダー）に対する事前研修を充実する必要がある。		
33		私のようにこれまで一度も参加したことがないのにリーダーになった方もおり、今回はみんなで確認しながら進めることが出来ましたが、やはり、リーダーだけでも、総合防災安全課の職員と事前に一度同じ流れで訓練を行って防災教育の日を迎えないと、リーダーはもちろんですが、地域の方も不安に思うのではないのでしょうか。		
34		難しい部分も多々あると思われるが、訓練本番の前に職員だけの図上訓練の機会があった方がよいのではないか。		
35		要配慮者等のための簡易ベッドや簡易テントを設営したが、具体的な使用目的等を正確に理解していないため、避難所開設訓練B班の職員はどこに設置していか分からなかった。新型コロナウイルス感染症の関係で十分な説明時間が確保できなかったこともあるが、訓練の目的を正しく理解するための事前研修が必要であると感じた。		
36		訓練に不参加の職員がいた。平成24年度から実施している防災教育の日の取組の重要性を総合防災安全課を中心に改めて職員に周知する必要がある。		
37		QRコードの読み取り訓練の実施は認識していなかった。必要な訓練内容は資料に記載するなど、わかりやすい周知をお願いしたい。		訓練に従事する職員が理解しやすい資料の作成に努めます。
38		デジタル防災無線を使用し、教育総務課へ終了連絡を行ったが、全員のQRコード登録を求められ、急遽対応（解散直後であったため呼び戻した）。説明会資料への記載が必要であると思う。		
39		訓練終了時の本部への連絡で、2次元コードの受付をしていないので、訓練参加者で携帯を持っている人全員が必ず登録をしてから訓練を終了していただきたいとの指示があった。再度確認をしたが必ずしてくださいとのことなので、訓練参加者に訓練終了の報告をしますと伝えた後だったが、全員に待機してもらい、再度体育館から遠く離れた防災倉庫まで2次元コードを取りに行き、戻ってきてから訓練参加者に登録をしてもらうという行動をとった。訓練参加者各自の携帯電話を使用しなければならないことでもあり、現実的に当日の指示をリーダーがする形式の訓練であるならば、事前説明会でも2次元コードの受付作業は必ず実施するものであり実施しない限り終了できない旨分かり易く説明し、配布資料にももっと大きく誰が見ても分かるように掲載してください。		
40	事前説明会で配布された資料では、実際にQRコードを用いて登録するのか不明であった（そのため、QRコードを使って登録画面までは参照したが、トラブルが生じるのを恐れて登録は行わなかった）。練習の中で実施を求めるのであれば、登録までするよう明記したほうがよい。			
41	新しく取り入れるものなどについては、事前説明会でより強調して説明していただけたらと思います。			
42	受付テーブルに何を置くのか参考配置例のようなものが（写真や図で）案内してあるとよい（パウチしたものを備蓄倉庫においておくなど）。			
43	受付テーブルに何を置くのかを写真つきで案内してあるとよい（パウチしたものを備蓄倉庫においておくなど）。			
44	受付機の完成形の写真等があると組み立てやすい。			
45	説明会資料19ページにあるような受付の写真があると、受付の設置が誰でもスムーズにできる。			
46	避難スペース設置で使用する紐の使い方を絵や写真で表示したものを一緒に格納しておくとうい。			
47	組み立てトイレとマンホールトイレの設置マニュアルを作ってくれるとありがたい。			
48	実際の体育館図ベースでもう少し詳細な区画レイアウトを避難所マニュアルに掲載してほしい。			
49	マニュアルのレイアウト図では、体育館の形状（柱の大きな出っ張り等）が加味されておらず、区画を設定する際の測定の仕方に混乱が生じた。			

番号	項目	意見等	検討の方向性等
50	事前の研修・説明	教職員の参加が時間帯、人数も事前にわからなかったため、市の訓練への参加をスムーズに案内できなかった。	各学校においては、訓練と同時並行で「命」の授業等の教育活動が実施されています。このため、教員については、原則、教育活動終了後に可能な範囲内において参加することとしているため、現状では、参加する時間帯・人数の事前の把握は困難です。
51		リーダーに選任された職員の全てが学校所在地や校門付近の状況を把握している訳ではないため、リーダー選任が事前説明会の直前となると、事前説明会で集合場所を明示することには無理がある。早めの選任をお願いしたい。	毎年、4月の人事異動に伴う、避難所担当職員の選出（人事異動に伴う更新）を担当各部へ依頼しているため、現状のスケジュールとなっています。
52		効率的に業務を行うためにも、職員の出欠については、いつまでに、どこにするなどを早い段階で明確にしてほしい。	
53	訓練内容	台風19号の際は、かなりの時間を全職員が避難者対応に当たり、交代がいつ来るのか、いつまで対応すれば良いかわからないままだった。どの程度人員が充てられるかは分からないが、各避難所担当者だけでなく、他の職員も交代ができるよう、今回のような防災訓練をやってもらってもよいのでは。	
54		台風19号で避難所対応した経験が、意見交換でも話題になった。そのため職員間でも意見、改善要望が出たため、地域の方々もある程度経験された方がいるとなると、今回の時間では足りないのではと感じた（今回、職員間で出たものを再度集約し、活かすことで、次回以降地域の方が参加した時にはある程度説明していけるとも思います）	
55		訓練を行うことで課題が見えてきますので、今後に向けて課題を一つづつ解消していく改善対応が大事だと思います。前回の訓練で課題として挙がっていたことが解消できたか、訓練時にチェックすることも有効だと思います。（防災教育の日の経年データを避難所単位で共有することができればなお良いと思われます。）	
56		前半のスケジュールはもう少しゆっくりでよい、分刻みであせったが後半は時間があまった。	
57		体育館や仮設トイレだけの部分的な設置ではなく、避難所を開設する全体の訓練が必要ではないか。（受付開設や傷病者エリア等）	
58		実際の災害時はかなりの混乱も予想されることから、臨機応変な対応ができるよう、様々な想定事例を準備しておいたら良いのではないか	
59		今回は1時限が授業中ですぐに体育館に入ることができなかったが、一度中に入り、自己紹介などをして気持ちを落ち着けてから始めてもよかったと思う。	
60		令和元年台風19号時に上ノ原小学校で課題となったことを把握して訓練を実施すべきだ。	
61		初動要員が、施設の開錠、建物の安全確認、受付設置等に最初にやるべき仕事も多く、体育館の避難所設営が難しい。状況により仮設トイレの設営もある。	
62		防災教育の日の訓練に初めて参加しましたが、リーダーの負担が大きかったです。	
63		今回の訓練はリーダーからの指示内容もかなり多かったと思われる。初めての場所での訓練で初めてのリーダーでもあったので、可能であればリーダーはその場所での訓練経験者が行った方が良いと思う。	
64		（これまでも指摘されているが、）リーダー以外の職員の多くは、お客さん状態で参加しているように見えた。リーダーの負担が過大で、サブリーダーの負担は過少。このバランスで訓練を続けても、双方のスキルの差は埋まらないのではないか。	
65		全体の指揮者はフリーで動けるようにするのが良い。	
66		本当の災害時、受付で使用する机は誰がどこから持ってくるのか？学校職員は初動要員と同時に参集できない。	
67		体育館が満員になったら教室にも入れていく予定であるが、体育館の設営しかしていないので、普通教室の机椅子を動かしたり区画割等の作業の人員が必要。	

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等
68	訓練内容	第八中学校は、動線がきっちり分かれている分、各避難所の職員同士も連絡が取りにくそう。体育館近くの階段を利用して、情報共有を行う職員を配置して、適宜情報共有できると良いかも。	様々な状況に応じた柔軟な対応ができるよう、訓練内容を検討するとともに、継続して訓練を実施します。
69		防災教育の日に参加した派遣管理職、初動要員及び避難所担当職員合計18人の中で避難場所に30分以内で参集できる人が5人、1時間以内で参集できる人が6人であった。震災直後に参集できる人数が限られるため、避難所開設作業の優先順位を決める必要がある。	
70		少数しか参集できない場合に、指示を仰げるようなシステムが必要。	
71	マニュアル	調和小学校の避難所運営マニュアルにおいては、●●町●●丁目毎に避難スペースを分ける旨記載がある（P7）が、事前説明会での配布資料に記載されている（P20）とおり、住む地区に関わらず案内役が奥の避難スペースに向かうよう案内する方が、スムーズに避難者を受け入れることが出来るため、避難所運営マニュアルの修正が必要である。	今年度の防災教育の日における市統一テーマ訓練については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、当初の予定を急遽変更し、市職員のみで実施しました。 現在の避難所利用計画図や運営方法については、令和元年台風19号における避難所開設時の課題や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、令和2年の出水期前に作成することが急務であったことから、暫定的に作成したものです。
72		・避難所運営マニュアルに記載されている体育館内の区割（地域ごとの使用スペース）は関係なくなるのか？との意見があり、今回は感染症対策を踏まえた避難所のパターンなので、通常時はマニュアルに記載の配置に戻るのではないかと意見があった。	今後、地域の方との協働による訓練を実施していく中で、現在の避難所利用計画図や運営方法等を検証するとともに「避難所運営マニュアル」の修正についても協働による検討が必要であると考えています。
73		以前の運営マニュアルでは、体育館内を地域別に区画分け（菊野台2丁目、国領町八丁目など）する案が記載されていたが、現行は奥から順番に区画に入ってもらうため、地域別区画はなくなっていると考えられるが、考え方の変更がなされている場合、地域の方々、特に役員への周知はされているのか不安がある（SHCの方々も知らない様子であった。）。	
74		避難所要員が到着した時点ですでに体育館は避難者で溢れている恐れがある。その場合の対応について、想定できる状況別にいくつかのパターンをまとめておいた方がよい。例えば真冬の夜や悪天候の状況で避難者が体育館にひしめいていた場合、感染症対策を優先し、区画割ができるまで一度退出させるべきなのか。あるいは、その時点では手指消毒と検温に留め、状況が落ち着いた時点で区画割を実施するなど、具体的な状況を想定したマニュアルがあってもよい。	
75		台風19号やコロナ禍の影響によりマニュアルを更新する中で、実際に避難所開設訓練などを実施して、問題点を抽出し、より実効性のあるマニュアルに改定していくことが必要。	
76		訓練を通じ、避難者スペースの割り振りの問題や、発熱者導線の課題など活発な意見交換が見られた。出された意見や改善点を確認し、運営マニュアル等に生かしてほしい。	
77		多目的グラウンドの使い方について、広いスペースを有効活用できていないのではないかと。	
78		アルファ米などを調理する場所が決まっていない。体育館内で行うのか。コロナ禍もあり別の場所でするのが良いと思う。	
79		学校の避難所運営マニュアル開設編の利用計画図と今回のA0版の利用計画図に相違があったので同一のものにした方が良い。	
80		学校避難所運営マニュアルには防災備蓄倉庫が1カ所しか記載されていないが、実際には2カ所あるので修正が必要である。	
81		受付後の案内に時間を要す。また、体育館の収容可能人数が少ないため教室を利用する可能性が高い。そのため、受付に校舎配置図を設置して案内係が来る前に案内場所を決めておいたほうがスムーズ。	
82		毛布や備品を置くスペースはどうなっているのか。体育館内を受付と2mのマスだけではなく、備品や救急対応、着替えのスペースを指定（図面を作成）したほうが良いと考える。職員の休憩場所なども必要ではないか	
83		職員が活動する（使用する）スペース確保が必ず必要（台風19号体験談）。2階を全面使用できるのが良い。	
84		教室を避難所として利用する場合の設置方法を明確にしてほしい（机などの取扱い、教室内の区分けなど）。	
85		テント者と避難スペースの仕分けを決めて欲しい。（公平さやトラブルにつながるため理由等も含め）	
86		避難所開設の指示から地域の方に避難指示が出るまでどの程度の時間になるのか確認したい。	
87		風水害時、染地小学校は避難所を開設しないが、近隣の人は知らずに来てしまうだろう。その方たちの対応や周知も想定しておかなければならないのでは。	
88		地震災害時と水害に備える避難所開設では、準備にかけられる時間に差がありすぎるので、別のマニュアルが必要と思われる。	

番号	項目	意見等	検討の方向性等
89	マニュアル	訓練では人数がいるためいろいろできるが、避難所開設時すぐには少人数しか参集できない可能性もあるため、何を優先してやらなければならないのか決めておいた方がよい。	今年度の防災教育の日における市統一テーマ訓練については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、当初の予定を急遽変更し、市職員のみで実施しました。
90		避難所担当の職員は、すぐに深大寺小学校に参集できるとは限らないため、学校職員かつ初動要員である職員の負担は大きい。人員が集まるまでの初動要員1人を想定した手順書が必要。	現在の避難所利用計画図や運営方法については、令和元年台風19号における避難所開設時の課題や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、令和2年の出水期前に作成することが急務であったことから、暫定的に作成したものです。
91		体育館舞台は補強工事を何度も行っており強度に不安があること、照明等が余震で落ちてくるおそれがあることから使用できない。	今後、地域の方との協働による訓練を実施していく中で、現在の避難所利用計画図や運営方法等を検証するとともに「避難所運営マニュアル」の修正についても協働による検討が必要であると考えています。
92		実際に災害が起きた時、職員自身も冷静でいられるとは限らない。一般避難者の案内はイメージがついても、要配慮者や発熱者の案内はどのようにするのか未だ不明確。特に、ケガをした人がいた場合は、要配慮者に案内することになっているが、病院への連絡先・連絡方法、応急処置の対応など、ある程度マニュアルが要配慮者のところにあると助かる。	
93	避難所利用計画図	避難所利用計画では発熱者の教室と一般の避難者の教室をホール等で封鎖しないと接触してしまう。あるいは、北階段の左右に発熱者の教室を配置するのではなく階段の右側だけを発熱者にするという意見が出ました。	現在の避難所利用計画図や運営方法については、令和元年台風19号における避難所開設時の課題や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、令和2年の出水期前に作成することが急務であったことから、暫定的に作成したものです。
94		部屋の割当変更について意見があった。4階第1音楽室に発熱者等を避難させる計画であるが、EVが使えない場合、4階まで階段移動させるのは現実的ではない。一般避難者を体育館と第1音楽室にし、発熱者等を南校舎1階英語室2にして隔離する。英語室2が避難場所となっていた障がい者をねむの木またはT-ROOMに割り当てる。発熱者等と一般避難者及びペット避難との動線が被らないよう、発熱者等は図書室脇を回って英語室2に避難する。	今後、地域の方との協働による訓練を実施していく中で、現在の避難所利用計画図や運営方法等を検証するとともに「避難所運営マニュアル」の修正についても協働による検討が必要であるとと考えています。
95		部屋の割当変更について意見があった。発熱者用受付及び避難場所として、4階の6-1～6-3教室を設定しているが、救急搬送等を想定した場合、低い階層に配置した方がよい。2階に他の避難者が入らないのであれば、2-1～2-4教室を発熱者避難場所としても問題ないのではないか。また、家庭科室や音楽室等の特別教室を使用する案も出た。	また、避難所における発熱者に関する国や東京都の考え方としては「感染症対策を万全に期することが重要であることから受付時や避難生活中において、一般利用者との動線を可能な限り分けること」としており、一般避難者の立入禁止が指定しやすい、上層階での避難が推奨されています。このため、市においてもその方針に則り避難所利用計画図を作成しています。
96		利用計画図では、西昇降口が総合受付、東昇降口が発熱者受付になっているが、正門(東門)が避難所入口の場合、避難者が正門から発熱者受付(東昇降口)に行ってしまう恐れや、総合受付から発熱者受付に行く人と、正門から総合受付に行く人とが導線が重なることから、総合受付は東昇降口の方がよい。	
97		総合案内から職員が4階まで案内をする必要があるが、人員不足の中では対応が難しいと思われる。 →発熱者等の避難場所を体育館前にある学童・ユーフォー棟に変更することを提案する。なお、発災時が学童・ユーフォーの利用時間帯である場合、利用している児童については健康を前提に校舎棟のどこかに移動が可能であると考え。	
98		コロナ対策をすると、体育館の収容人数は40人程度であり入らない。現在のマニュアルでは体育館→教室という誘導だが、階段の利用が困難な人・問題ない人でわかるなど別の誘導順を考える必要があると思った。	
99		発熱者等が4階に行くことについて、当日の意見交換の場では、「発熱者が4階へ行くのは難しいのではないか」という意見が複数出ました。しかし、コロナ禍においては1階にいる一般避難者や、特に要配慮者には感染させない、安心してもらうことを考えると、発熱者等に可能な限り離れたフロアの4階に避難してもらうのはやむを得ない措置であると思いました。	
100		各受付の設置場所について、屋内を想定しているものがあるが、感染症対応の観点から、極力、屋外に設置した方がよい。	
101		発熱者等の動線を分けるならば、階段より右の教室、4-4(1階)、4-1(2階)、6-1(3階)を使用すべき。	
102		コロナ対応のため体育館開設に時間がかかる。教室利用を主体にすべき。	
103		正門から入っても、正門で感染されるのではないかと。受付場所を熱発者と別の場所に変えてはどうか	
104		浄化水槽付近の水飲み場は、受付通路付近になるので、感染が広がる恐れがあることから、配慮が必要ではないか	
105		発熱者と一般避難者が正門から同じように通るが、工夫が必要ではないか	

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等
106	避難所利用計画図	東門を発熱者等専用門とする（一般避難者との動線の交錯を防ぐため）。	現在の避難所利用計画図や運営方法については、令和元年台風19号における避難所開設時の課題や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、令和2年の出水期前に作成することが急務であったことから、暫定的に作成したものです。今後、地域の方との協働による訓練を実施していく中で、現在の避難所利用計画図や運営方法等を検証するとともに「避難所運営マニュアル」の修正についても協働による検討が必要であると考えています。また、避難所における発熱者に関する国や東京都の考え方としては「感染症対策を万全に期することが重要であることから受付時や避難生活中において、一般利用者との動線を可能な限り分けること」としており、一般避難者の立入禁止が指定しやすい、上層階での避難が推奨されています。このため、市においてもその方針に則り避難所利用計画図を作成しています。
107		総合受付で受け付けた後、発熱者と一般避難者で動線が同じ部分があるので、分けた方がいい。	
108		被災者の動線については、付近の環境（動線の重なり、浄化水槽付近など）等を踏まえ、立ち入り禁止テープの活用や、あらためて動線の変更を検討しても良いのかと思います。	
109		受水槽利用時の動線（利用方法）設定（発熱者等の動線と被る可能性あり）	
110		熱症状のある人の待機場所が、学校再開時や隔離のことを考えてか、4階となっているが、調理室に近い動線であることは懸念される。また、その場に人員を固定配置する必要があるのではないか。	
111		計画上、発熱者等を誘導する場合は、非常階段を利用して校舎内に案内することになっているが、体調が悪いことに加え、総合案内から非常階段まで距離があるため、計画を見直しを検討した方がよいと思う。	
112		一般と発熱者動線はコーン等で区切る。検温は、体育館外で測り、そのうえで避難場所に案内する。避難民滞留時は、プール側に沿って待機してもらう。	
113		総合案内で受付をしたあと、「発熱者等」は個別の受付場所である地下1階の西昇降口に移動するが、総合案内のある中央玄関から正門側に戻ってから地下1階に移動する動線となっている。その時に正門から学校内へ避難をしてくると動線が重なってしまう。「発熱者等」は他の動線が必要ではないか。	
114		発熱者において、介添えが必要な場合、付き添いは可能なか確認が必要である。	
115		発熱者への付き添いの可否及び建物内に土足で入っても良いのか明示すべき	
116		救護所が必要。	
117		体調不良の方を3階に案内するが、上の階に行かせるのは案内しにくいと、配慮が必要で、同じ教室に何人も案内することで、更に体調を悪化させてしまうため、市内に数か所医療従事者や救急車等が直ぐに対応できる箇所を設置した方がよい。また、それぞれの避難所にも看護師等を配属があれば安心する。	
118	発熱者は調和小学校へ誘導することとなっているが、受入側の調和小学校の状態をスムーズに確認するため受付にも無線を設置してほしい。発熱者を誘導したが、調和小学校では収容できない状態であった場合、弱っている者をたらい回しにするような結果となってしまう。また、万が一の場合は現在使用予定となっていない、学童クラブ等を開放するなどあらかじめ取り決めておいた方がよい。		
119	積極的な意見交換ができた。特に、東側の正門から総合受付までの位置や距離と、要配慮者や発熱者の避難場所となる校舎の入り口の位置などがはたして適当か否か。また、学校敷地内に入ってから滞留が発生すると、正門の外に並んでしまう想定もあると感じた。今後の課題である。		
120	発熱者等の避難場所（4階教室）について <ul style="list-style-type: none"> ・具合の悪い方を4階まで移動させることは困難である。 ・総合案内から職員が4階まで案内をする必要があるが、人員不足の中対応が難しい。 →発熱者等の避難場所を学童・ユーフォーに変更することを提案する。なお、利用している児童は健康を前提に4階への移動が可能であるとする。		

番号	項目	意見等	検討の方向性等
121	避難所利用計画図	要配慮者や熱症状のある避難者が使用する教室配置については、なぜその教室にしたのかを想像しながら意見交換した（六中は、熱症状がある避難者は隔離するため4階への避難場所となっており、学校再開を見越し普通教室以外を避難場所として開設している、と学校事情もあることを認識）	現在の避難所利用計画図や運営方法については、令和元年台風19号における避難所開設時の課題や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、令和2年の出水期前に作成することが急務であったことから、暫定的に作成したものです。今後、地域の方との協働による訓練を実施していく中で、現在の避難所利用計画図や運営方法等を検証するとともに「避難所運営マニュアル」の修正についても協働による検討が必要であると考えています。また、避難所における発熱者に関する国や東京都の考え方としては「感染症対策を万全に期することが重要であることから受付時や避難生活中において、一般利用者との動線を可能な限り分けること」としており、一般避難者の立入禁止が指定しやすい、上層階での避難が推奨されています。このため、市においてもその方針に則り避難所利用計画図を作成しています。
122		一般避難者の動線として総合案内から校舎を經由して体育館に向かうと要配慮者と混同するので、総合案内から外を通過して体育館に行く方が良いのではとの意見が出たが、そうすると総合案内を通らず直接体育館に向かってしまう人の流れができてしまうので、計画動線のままで良いのではとの意見があった。	
123		総合案内から体育館への動線が校舎内となり、避難時の多くの物品を持っているかもしれない避難者に、さらに靴を脱がせて持たせた状態で移動させることが可能か疑義あり。とはいえ、土足で長距離を移動させていいものか。→総合案内を現在の想定位置から、体育館の玄関に移動することを提案する（一般受付は体育室（アリーナ）内に設置）。	
124		受付完了後、避難スペース（場所）までの誘導導線の見直し	
125		防災倉庫から体育館までの距離が非常にある。校舎内をとおり防災倉庫の物品を体育館まで運べるルートの設置が可能であれば、移動時間も非常に短縮でき、雨天時は必要物品を濡らすこともないと思われる。	
126		体育館が埋まったあとに、教室へ案内ではなく、体育館は最終避難場所にする。	
127		避難所利用計画において、教室の使用場所について、導線を考慮して再考する必要がある。	
128		体育館への導線については、外から直接まわった方が案内しやすい	
129		校門から入ると体育館の受付が先に目に入る。総合受付の設置場所は現状のままでよいのかなど、避難者の動線を再考する必要あり	
130		正門から入った市民は総合案内へ行かずに体育館へ行ってしまう懸念あり。	
131		「滝坂小学校 避難所利用計画」のクラスの場所の表記に誤りがある。現在は1階3年1組→4年2組、3年2組→4年1組、4年1組→3年2組、4年2組→3年3組、2階ひだまりルーム→3年1組とのこと。	
132		避難所利用計画図が、今年度変わっているため、確認をお願いします。	
133		現状では増築したプレハブが利用計画に反映されていない。その他変更点があるのでマニュアルの改訂が必要である。	
134		増築プレハブが現状のマニュアルに反映されていない。	
135	避難所利用計画は、体育館内に常日頃から分かるところに張り出すことで、時間短縮につながるのではないかと。		
136	学校敷地内に学童クラブやユウフォー棟が存在する学校もある。子ども生活部とも連携を図っていくことが必要。		
137	トイレについて、校舎西側のトイレは大人も使用できるが、中央及び東側のトイレは子供用のため大人が使用するのは窮屈で難しい。		
138	避難スペースの設置	2m×2mの避難スペースを作るには、今のやり方だとある程度人数がいらないと作れない。早い段階で避難スペースを作る必要があるが、すぐには少人数しか参集できない場合も想定され、なるべく簡単に少人数で作れるような方法が望ましい。また、スペースの角にテープを貼るだけだとスペースが分かりにくい。例えば、備蓄品のレジャーシート（1.8m×1.8m）を1スペースとして敷くなどの対応はどうか。	訓練で出された意見を踏まえ、令和3年7月下旬から8月上旬に実施した調布市防災対策検討委員会避難所部会訓練（避難所開設訓練）においては、レジャーシートを試行的に使用しました。今後も訓練を通じて、迅速かつ適切な開設方法について検討します。
139		体育館の避難スペース確保用の紐は、色がわかりにくい。また、紐の端と端を持ち6人の職員で対応しなければならず、他の業務に支障をきたす。（1区画の作成に10分要した。）体育用メジャーやランドマーカーの方が早く対応できる。または、2m×2mのレジャーシートを用意し対応した方が迅速かつ正確である。	
140		地区協が体育館全体にブルーシートを敷くと言っているのですが、体育館床に2m×2mの避難スペースを引くのではなく、事前にブルーシートに線を引いておけば時短になる。	

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等
141	避難スペースの設置	区画がすぐに作れず、避難者が来てしまうような時には、アルミシート(畳1畳分くらいのもの)や毛布のようなものを、受付で1人1枚配付し、その大きさを1人あたりの区画と考えるなど、工夫して臨機応変に対応できるように考える必要もあるのではないかな。	訓練で出された意見を踏まえ、令和3年7月下旬から8月上旬に実施した調布市防災対策検討委員会避難所部会訓練(避難所開設訓練)においては、レジャーシートを試行的に使用しました。今後も訓練を通じて、迅速かつ適切な開設方法について検討します。
142		風水害時とはともかく、地震発生時の避難所開設については、紐を用いて区画を整理する時間はない。予め2m四方のシートを複数用意できれば、それを敷くだけで準備が完了するため時短が可能。	
143		避難スペースの計画が更新されるたびに貼りなおさないといけないという手間はありますが、あらかじめ体育館に避難スペースを仕切るためのテープを貼っておいても良いのではないのでしょうか。現在の避難スペースの計画では、そもそも多くの避難スペースを確保できないので、テープの数も多くなく、体育館の邪魔にはならないと感じました。	
144		現在の体育館での避難場所の区切りには、時間と人数を要する(四隅に1人ずつ、テープを張る人1人で5人を必要とする)。これは、課題。2×2の正方形のシート等を複数枚用意し、敷いた後にテープをはるなど、少ない人数で早く、多くの区切りができるような方法が必要であると感じた。	
145		紐だと、区画整理のために複数人が必要。例えば1m、2mの棒状のものが用意できれば時短が可能。	
146		体育館を2m×2mで区切る際には、体育館の床にあらかじめ引かれているラインを使うと時間短縮になった。	
147		スペース確保に際して、体育館のラインを活用できれば効率的である。	
148		避難スペースを設置する際のガイド紐が用意されていたが、長すぎて使いづらかった。2m・2m・1m(合計5m)ではなく、2m・1m(合計3m)の方が取り回しが楽ではないか。また、テントの大きさが2m×2mなので、先に組立ててから、それを基準に養生テープで区画分けしても早いだろうと感じた。	
149		避難スペースを設置する際のガイド紐が用意されていたが、長いと絡まったりしてしまう恐れがあるため、2m・2m・1m(合計5m)ではなく、2m・1m(合計3m)のほうが使いやすい。	
150		2mの区画を作るのに、紐で作成したが、とてもやりにくかった。また、作業の人数も4人以上いないと効率よく設置が出来ない。4人の人数を避けないのではないかな。	
151		区画割用ガイド紐の使い勝手が悪い	
152		ひも状ガイドは体育館一面分、教室1部屋分の用意が必要	
153		避難スペースを囲む紐は全体を網羅できるものがよいのではないかな。とても時間がかかる。	
154		ひも状ガイドは体育館一面分が用意されていれば(払うだけで設営が終わるため)、避難所開設までの時間短縮が図れる。また、教室についても同様の用意が必要。	
155	体育館の区分け用の養生テープは、ブルーシートに貼る場合、目立つ色となっているか?(訓練で使用した養生テープは青系だったが)		
156	バミリ用のテープは黒色が見やすく良い。		
157	避難スペース確保時の養生テープの色が、体育館の室内灯と同化し分かりづらい。		
158	染地小の体育館は既に「青色」と「黄色」テープが多数張られているため、それ以外の色の養生テープの配布を希望する。		
159	区画整理のための青の養生テープは体育館の床面と同化して分かりにくい。黒など目立つ色が用意できるとよい。		
160	避難所開設時、ブルーシートの上にスペース(区画)の印を付けるのであれば、今回の青い養生テープは分かりにくいので同色以外の別の色のテープが良い。		
161	避難所開設の際、体育館内ではブルーシートを敷くのが基本になるとしたら、そのシート上から今回訓練した、避難スペース(区画)を作るためのマーキング養生テープは同色(今回支給の青)は避けるべき、判別しにくい。		
162	養生テープは単一色ではなく数種類あると良いのでは		
163	染地小学校の体育館の床は青色の線が多く使われていることから、青の養生テープはわかりづらい。(学校によると思うが)		
164	バミリだけでは自分のスペースが分かりにくいいため、養生テープやビニール紐で線を引く方が良い。		

番号	項目	意見等	検討の方向性等
165	避難スペースの設置	避難スペースの区画を養生テープで区切る際、それぞれの区画が判りやすいように貼る必要があると感じました。(図の掲載は省略しています。) 区画の端はL型、中はT型という感じです。詳細は右図のとおり。	訓練で出された意見を踏まえ、令和3年7月下旬から8月上旬に実施した調布市防災対策検討委員会避難所部会訓練(避難所開設訓練)においては、レジャーシートを試行的に使用しました。今後も訓練を通じて、迅速かつ適切な開設方法について検討します。
166		避難所の区画テープはわかるようにしっかり貼る。	
167		体育館内の受付に、避難者が並ぶときに距離をとる意識が向きづらいと思われるので、床にテープを貼るなど目印をして一人一人の場所を分かり易くする。	
168		境界区分の印は点のため、実際には線を引くとともに番号を振る必要がある。	
169		通路が1mしかないので、体育館への入口、動線を決めておかないと混乱するのではないか。	
170		避難所スペースの設置については、その必要性和設置方法においてまだまだ課題があると感じた。こうした訓練を通じて改善点を見出すしかないと思われる。	
171		簡易テントの大きさが2×2のスペースに入らない。どこに設置してよいか分からなかった。	
172		避難スペースの使い方について、避難者の持ち込み(テントなど)をどこまで許容するのか事前に決めておいたほうがよい	
173		体育館内に隙間なく区画を作ったが、トイレや倉庫前の導線を確保した方がよいと思う。	
174		収容人数	
175	教室の収容人数が分からない。		
176	各室の収容人数を明確にすべき。		
177	学校ごとに受け入れられる避難者の上限を教えてください		
178	体育館が一杯になった場合に普通教室に避難してもらおうことになるが、1教室の収容人数も事前に検証し、学校全体のキャパシティも把握しておくべき。		
179	避難者を校舎内に避難させることも想定し、各教室の受入人数の目安があると分かりやすい。		
180	体育館で収容できない場合は教室開放となるが、教室にどのぐらいの人数が収容できるのか。		
181	定員の考え方、人が溢れた場合は断れるのか→断れない		
182	定員を超えた場合や受け入れられる場所がなくなった場合の対応は、市として共通対応を出しておくべきであると考え		
183	国領小学校の受入れ避難想定人数と、実際に体育館に入場可能な人数に相当差があり、検討する必要がある。		
184	コロナ対応の収容人数は正しいのか。		
185	定員以上に避難者が来た場合の対応等、避難所全体で統一した考えを持っておく必要があると感じた		
186	個人的には、感染症対策をとりながら区画をとっていたが、避難者が想定より多くなった場合の対応をどうするか、台風19号の際も、避難者を断るのは非常に難しいこともあり、避難者定員を上回っても受け入れざるを得ない、密にならざるを得ない状況もありうると感じた。		
187	「感染症に考慮した避難所運営」に従って避難スペースを設置した場合、104区画しか設置できず、東京都通知に基づけば104人分しか設置できない。一方、「感染症考慮時における避難所収容人数」(説明会資料P43)には524人とある。この差は何か。また、発災時、収容人数104人では機能しないと思われるが、実際には1区画に何人と案内すれば良いのか示してもらいたい。		
188	実際に区画分けしてみると、受け入れられる避難者の数は、想定よりも少数となるのではないかと。最前線の現場が困らないように、“受け入れを断るときの対応”のマニュアルも配備すべきと感じた。		
189	体育館に2×2m(4㎡)が48しか作れなかった。学校全体でも数百ぐらいか。それ以上避難してきたら、詰めるのか。		

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等		
190	収容人数	感染症考慮時の収容人員は89人となっていたが、今回は、89人分確保できなかった。受付場所の設置も含め、基本形を示してもらった方が設置しやすい。	感染症考慮時の避難所収容人数については、体育館だけではなく教室も使用する想定で人数を算出しており、収容人数については、調布市地域防災計画や市のホームページに掲載しています。令和元年台風19号における避難所開設時の課題を踏まえ、今後は全ての避難所を一斉開設するとともに、各避難所の体育館・教室の一斉開設を想定しています。また、日頃より分散避難等に関する周知や、避難所開設時においては、市のホームページ上で各避難所の混雑状況を公開するなどの対策を行うことで、避難所の混雑緩和に対応することとしています。		
191		配付資料の収容人数350人は難しい。体育館だけでも40人、教室は4人しか収容できない。			
192		体育館1、一般用20室（音楽室を除く）、要配慮者用3室、発熱者用3室、ペット用3室である。1室6m×6m＝9人とする、一般用230人、要配慮者12人、発熱者12人で、合計で254人、避難所計画では381人収容できていることになるが本当なのか。			
193		配付資料の収容人数350人は難しい。体育館だけでは40人（区画割をうまく行えばもう一列増やせそうであるが、それでも50人）、教室は（同様に壁から2m離し、区画間に1m確保しようとする）4人しか収容できない。教室については一般的な教室における区画例を示す方がよいと思われる（その場合、机といすの収納についても考慮が必要）。			
194		体育館50区画とれた。50人避難できることが分かった。			
195		体育館避難者の区画の利用方法の基準緩和。都基準の場合56人のみ、舞台上使用で最大64区画の収容。			
196		実際に避難所が開設された場合、避難者数が体育館の収容人数を大きく超えることが想定されるため、教室を使用する場合も、2m×2mの区画をとるのかなど、統一的な基準があればよいと感じた。			
197		体育館の収容人数が48人と少なく、教室を使うことになると思われるが、単身者以外のご家族の対応等予め混乱が生じないように、対応方法を定めておく必要があると感じた。			
198		収容人数を割り出すために、教室の机と椅子をどこにどこかすのか現実的に考えるべき。			
199		廊下は使うが教室には入れないのか			
200		1区画1人は現実的ではない。感染症対策を踏まえていることは理解できるが、有事の際にそこまでの配慮は難しいと思う。1区画1世帯（2～3人）程度が現実的ではないか。			
201		1区画1人としているが、家族であれば2人で1区画、5人で2区画等の運用も必要ではないか。			
202		2mの区画には4人が限界で、5人家族以上には2区画の配置が必要ではないか。			
203		1人1区画の考え方は現実的ではない。4人家族に4区画割り当ててしまうと、すぐに定員になってしまう。また、小さな子どもは親と離れられない。例えば母と子（2人）で1区画と考える場合、子は何歳までとするかの明示も必要である。			
204		世帯毎の収容人数も決めたい。			
205		各室ごとの収容名簿を作るべき。			
206		総合案内・一般受付		受付に多くの避難者が押し寄せると混乱を招くため、配置割当を固定せず時間帯により受付を増員するなど流動的な対応が必要ではないか。	避難所の混雑時においても、避難者が迅速かつ円滑に避難できるよう、訓練内容の見直し・改善を図りながら、柔軟な対応ができるよう訓練を継続します。
207				多数の避難者が来ることが予測されるため、臨機応変に受付の数を増設できるようにするべきである	
208				一般受付(体育館受付)場所は、体育館の収容状況が確認できる場所に配置しないと現状把握ができず本部報告等の迅速な対応ができない。	
209	総合受付、要配慮者受付、体調不良者受付、ペット受付の担当者は、無線等でリアルタイムに連携が取れないと困るのでは。総合案内で避難者を案内したが満員で入れない場合にトラブルになる。				
210	総合受付と体育館入口での連絡方法がなく、人が溢れてきた時の対応を検討する必要がある。				
211	受付の机の上にマスクを配置するが、手交するものリストにはないため、付けてこなかった方だけに配布するのであれば机の上に置かない方が混乱を与えずに済むか。				
212	手指消毒用アルコールを受付より前に設置し、並んでいる間に消毒してもらおう方が、受付がスムーズに進む。				
213	受付簿での人数確認は、混雑時困難なためカウント計を用意した方がよい。				

番号	項目	意見等	検討の方向性等
214	総合案内・一般受付	総合案内で検温しない場合、一般受付の検温で発熱者が発見される場合が想定されるため、発熱者を発熱者受付に案内する人が必要となる。また、発熱者と同居する家族も一緒に発熱者受付に案内することや、避難者名簿が世帯で1枚であることを考えると、世帯ごとに並ばせ受けできるような整理する係も必要である。	避難所の混雑時においても、避難者が迅速かつ円滑に避難できるよう、訓練内容の見直し・改善を図りながら、柔軟な対応ができるよう訓練を継続します。
215		検温は一般避難者受付で行う計画になっていますが、検温にはあまり時間もかからないと思うので、総合案内で検温し、その場で熱のある方は発熱者等の動線を案内する方法がスムーズに行くと思いました。一般避難者受付(体育館)では、名簿作成などもあり、そこで検温をすると、混雑することが想定されます。	
216		最初の入口で検温すると、入場にてこずるのではないかと。次から次へと避難してくる人のさばき方を検討する必要がある。	
217		今回の避難所開設訓練では受付を体育館内に設置し、検温もそこで行うこととしたが、コロナウイルス感染防止の観点から、震災時は避難所利用計画通りに校舎入口か、晴天であれば校舎外で行うことが望ましい。	
218		総合案内で振り分けられた後に体育館へ来られた方の検温と消毒は、体育館の外で行った方が皆が安心するのではないかと意見が出された。工夫をしようということになった。	
219		検温は受付で行わず、自ら動き屋外で入館待ちの避難者に行う。	
220		受付以外で避難者が測る際や不具合があった時の代替用の体温計が足りない。	
221		総合受付で確認する発熱者等の基準は？(体温何度以上、濃厚接触者など)	
222		体育館内での受付対応方法について、自動音声のアナウンス案内が周知可能だと、職員体制が途中から他に回せるとの意見有⇒(理由)選挙事務のように、機械的なアナウンスは職員の体力消耗につながる、また、人を貼り付ける余裕がないことも想定できるため(説明していると受付の列が長くなるだけ)。	
223		受付は自動音声でアナウンスできると良い(機械的なアナウンスになること、人員に余裕がないこと、説明に時間を要すると列が長くなり滞留することを想定)。	
224		巡回する案内役のような役割の人がいても良いのではないかと。	
225		総合案内をフロントに振り分けたほうがよい。総合案内で受付をし、ペットを預けてからまた総合案内に並び直すのか。	
226		校門から避難所までの案内がないとわかりづらくクレームの対象となるのでは。	
227		名簿の回収を職員が行うのは体制上厳しいのではないかと。記入した本人が受付に持ってくる運用の方が現実的である。	
228		案内役が案内と回収を同時に行うのは難しい。回収は後からまとめて行った方がよい。	
229		受付で避難者名簿と健康チェックシートを配付するが、避難者名簿は世帯で1枚、健康チェックシートは1人1枚であるため、受付では避難者名簿のみ配付し、健康チェックシートは避難者名簿回収場所から世帯人数分を持って行ってもらう方が、紙の無駄にもならず、受付もスムーズに進む。避難者名簿は、案内係が回収まで手が回らないため、世帯の代表の方に持ってきてもらう方式の方がよい。	
230		避難者を名前順に綴る等の方法となっているが、多くの避難者が殺到することが想定される中で並べ替えがとても追いつかない。来た人から受付番号を振って管理するなどの時短方法を標準対応として統一した方がよい。また、緊急時適宜対応だとしても、想定の手配の人数割振りでは受付がさばききれないので増員が必要だと思う。	
231		避難者に配布する各様式は3点を一度に配付せず、先ず名簿のみ配付する。残りの2点は、避難者が区画へ移動し名簿への記入後、巡回している案内役が回収し、それと引換えに配付する。	
232		各受付で人数管理をしっかりとやらないと混乱するのではないかと。例えば家族の代表者が先に受付して、後から家族が来るような場面では、後から来る人数分の区画を空けて案内しないと家族がバラバラになってしまう。統一的な基準がなければ現場判断になってしまうのではないかと意見があった。	
233		受付機と、名簿を整理する機は一緒にあると行列の導線がかぶるので離れた方がよい。名簿を整理する機は体育館奥でよいと思う。	
234		受付用の機Aと書類整理用の機Bを並べて設置したが、避難者が密集状態になってしまった。機Aと機Bは離れて設置する必要がある。	

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等
235	総合案内・一般受付	体育館内で避難者を避難スペースに誘導する時、家族での避難者はその家族が分かれてしまわないように繋がっている避難スペースに誘導するよう配慮する必要がある。	避難所の混雑時においても、避難者が迅速かつ円滑に避難できるよう、訓練内容の見直し・改善を図りながら、柔軟な対応ができるよう訓練を継続します。
236		区画毎に番号や記号を割り振れば案内しやすいのでは	
237		受付で案内した場所と、実際に案内した区分を連動させる必要がある。	
238		災害時、総合案内が設置されている正門だけでなく、3つのすべての門から住民が避難してくると予想される。その場合、総合案内を通らずに体育館へ来ることも考えられる。可能な限り正門からの避難を、周知していきたい。	
239		今回は、体育館入口に受付を設定したが、本番では柏野小は、昇降口に総合受付を設定する。本番では、避難者を整理するのに昇降口と体育館両方に受付が必要と感じた。	
240		多数の避難者の来所を想定した場合、総合受付が通路上にあると、受付前に来所者が滞留し通路機能が麻痺してしまうので、多目的グラウンドに設置した方がよい。受付にはテント、照明等が必要。	
241		体育館内に最大の避難者スペースを確保しようとすると受付場所と避難者スペースが非常に近くなるので、受付場所の前には避難者スペースを設置しないようにするか、パネルなどの目隠しをして避難者が人目を気にしないようにする必要がある。	
242		受付名簿は、個人情報として提出するのを拒む避難者もいるのではないかと。	
243		受付セットをまとめて透明ケース等にまとめて入れておいてくれると準備がスムーズ。	
244		体育館入口付近の土足ラインの設定。	
245	掲示・案内・広報	総合案内がどこにあるのか、正門をはじめ、各門に案内の掲示があると分かりやすい。	避難者が円滑に避難できるよう受付、校舎の案内等の掲示について、検討します。また、必要な情報については、市報・市のホームページによる周知を検討します。
246		総合案内の大きく分かりやすい表示が必要。ピクトグラム等を活用し、受付、動線をもっと分かりやすく表示する必要がある。また、外国人向けに少なくとも英語表記での案内、表示も必要と考える。	
247		正門に「ペットはこちらへ」の案内を掲示する。すべてを総合案内で振り分けようとせず、避難者が視覚的に判断できる掲示※が必要。→総合案内を上記のとおり変更した場合は、東昇降口においてもペット受け入れが可能となる。	
248		第八中学校の体育館は入り口が2つあり、正式な出入口（セコムがある側）ではない方が、避難所入り口となっている。「入口はこちらではない、避難所はこちら」といった旨を記載した立て看板かポスターのようなものが掲示できると一々案内しなくて助かる。	
249		動線を書いた案内板を校門全箇所に設置しスムーズな移動を促したほうがよい。	
250		動線的に南門から入ってすぐペットの受付窓口が目に入るので、人がそちらに行かないよう（総合窓口）にスムーズにいけるよう案内が必要	
251		避難所案内（パウチしているもの）は日本語版のみ。外国語版の作成を検討すべき	
252		職員が口頭で案内する内容は、予め掲示物あるいは印刷物で準備しておけば案内漏れの防止となる。また、外国語表記の物もあった方がよい	
253		様々な掲示をするようになるが外国語のものも必要。	
254		隣接する多摩川住宅は高齢者が市内平均の約2倍の高齢化率とのこと。マニュアルや案内などに記載の文字フォントは大きく表示して欲しい。	
255	携帯充電のためのコンセントの取扱いにかかる周知徹底が必要(台風19号体験談)。		
256	避難所案内にマンホールトイレのない所は公表した方がよい。		
257	避難所は避難者の安全を確保する場所であり快適さを求める物ではない。避難者が必要と思うものは持参するよう周知に力を入れたほうが良い（持ち込みをどこまで許容するかは課題）。		
258	避難される際に、軽食的なのを各自用意するようガイドライン等に載せられるのか。		

番号	項目	意見等	検討の方向性等	
259	感染症対策	受付にフェイスシールドが1つしかない？足りない。	避難所における感染症対策については、東京都の「避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき対応しています。原則、新型コロナウイルスに罹患している方は東京都が管理しており、災害時においては、保健所の指示に従い避難所以外の場所に避難することとなります。施設や物品の消毒の場所や頻度については、その時の国や都の考え方によって変わることがあることから、開設時の市の施設使用時の対応に準じて行っていたこととなります。	
260		コロナ禍での発熱者等の対応について、コロナウイルス感染者として対応すべきなのか、また、マスク、手袋だけではなく、防護服等も準備してもらい、対応すべきなのか、懸念事項として意見がありましたのでご検討をお願いします。		
261		マスクや消毒液が足りなくなったら補充できるか？		
262		避難所内でもアルコール消毒液を設置できると良い		
263		手指消毒用のアルコールを各所へ配置する必要があるのではないか（体育館等）。		
264		特設公衆電話の所もアルコール消毒が必要である。使用後、消毒することも大切になる。		
265		消毒の場所と頻度はどうするか		
266		職員がコロナに罹患しない方法、装備をより検討を進めてもらいたい。		
267		コロナ感染者とコロナではない体調不良者を分けられるようにし、感染リスクを減少させる工夫が必要。コロナ用の受付も必要か。		
268		コロナに感染しているか判別できない中で、体調がすぐれない人を同じ場所に避難させて良いか。		
269		一般の避難所に入ったが途中で具合が悪くなった場合は、どうすればよいか？		避難所内における新型コロナウイルス感染症対策としては、受付時の検温・体調確認、手指消毒、マスク着用の徹底に加え、発熱症状等がある傷病者の動線、避難スペース（トイレ）を分けることとしています。避難所への避難後における各避難者の健康状態の確認は、受付時に配布する「健康チェックシート」を用いて、避難者自身が健康観察を行います。発熱症状等が無く、単に体調がすぐれない場合は、必要に応じて避難所内の要配慮者スペース等にご案内するほか医療機関の受診を案内することとしています。
270		検温するだけではコロナに感染しているかどうか判断することは難しく、症状のない感染者がいた場合に感染が広がる可能性がある。		
271		体温測定は避難者個人任せなのか		
272		発熱者等を校舎内に誘導した後はどのように対応すべきか。看護が必要か。		
273	感染症対策として避難スペースが広がることから、体育館に避難できる人が限られてしまう。実際には押し寄せてくる人達の対応には苦慮することが想像できる。			
274	感染症に備え、医療従事者（看護師等）を配置すること。感染症に感染しているか否か、判断できるのは医療従事者ではないか。	発熱症状等がある傷病者については、福祉健康部、保健所等の関係機関と連携したうえで対応することとしています。		
275	避難所と病院との連携はどうなっているのか			
276	避難所に医療従事者の配置はどうなっているか。巡回でも良いので配置を望んでいる。			
277	要配慮者の対応まで手が回らないと思われ、二次避難所との連携が重要である。			
278	障がい者など自力で避難所へ避難できない方への対応は？	二次避難所との連携については今後訓練等を検討しています。また、現在、多摩川の浸水想定区域を対象とした要配慮者避難バスの運行について検討を進めています。		
279	避難区画を壁から離さない方がよい。収容人員数が減ってしまうことや、高齢者は壁を背もたれとして利用したいと思われる。また、体育館によっては（深大寺小学校はそうであったが）跳び箱やマットが壁際に並べられており、そこから2m離すとなおさら区画数が減少してしまう。	要配慮者が安心して避難いただくために、福祉健康部等と連携した訓練を通じ、様々な状況に応じた対応ができるよう努めます。		
280	避難区画を壁から離さない方がよい。壁は高齢者が背もたれとして利用したいと思われる。			
281	増築したプレハブにはスロープがある。現状の要配慮者の使用教室を変更すべき。			
282	体育館の奥が体育用具置き場となっているが、その場所に救護所あるいは授乳室を設けてもよいのではないか。			
283	避難者は来た順ではなく優先順位をつける。（一階はお年寄り優先というように、一定程度のガイドラインを作成する。）			

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等
284	要配慮者	簡易テントは、利用者の定義を資料で示しているが、実際に避難所で混乱した状況下においては、様々な意見をいただくことにつながってしまうことが予見できる。体調不安で教室を利用する方と近いスペースに簡易テントを設置すれば、「特別な重篤者の利用」で説明がつくが、体育館内に設置する際は授乳・オムツ交換なら理解を得られるだろう（※八雲台小では授乳・オムツ交換は弾幕と間仕切りを設置したうえで舞台上と決まっている）が、重篤者の利用では納得いただけないのではないのか。	要配慮者が安心して避難いただくために、福祉健康部等と連携した訓練を通じて、様々な状況に応じた対応ができるよう努めます。
285		避難者用テントについては、数に限りがあるため、使用をめぐって避難者間でのトラブルに発展する可能性がある。例えば授乳が必要な避難者専用など予め用途を明確にし、避難所内で周知を図る必要がある。	
286		要介護の付添は傷病者エリアに入れるか？何人までか？	
287		要配慮者の妊婦・乳幼児とあるが、乳幼児がいた場合は、妊婦だけのお世話等は大変と考えられるため、家族単位の方が良いのではないのか基準を明確にしてほしい。	
288		要介護者・発熱者の誘導経路など訓練で実地を見たことで課題がわかってよかった。	
289		介護を要する高齢者のその家族、家族のうち1人は発熱など複合的要因がある場合の受付方法を明確にした方がよい。	
290	ペット同行避難	ペット同行避難者は、ペットも家族のためペットと一緒にいることが考える。ペットの避難場所には家族1名の付き添いが可能等の配慮を考える必要がある。	ペットについては、アレルギー等、他の避難者への配慮が必要であるため、飼い主との同伴避難ではなく、ペット専用の避難場所への「同行避難」としてしています。 ワクチン接種の有無については、既に「ペット登録台帳」の様式において記入項目があります。 大型犬については、大型犬用のケージに入れていただくことを想定しています。 ペットへの対応を含め、避難所の衛生環境を維持するため、消毒液を備蓄しています。 「同行避難」に関する課題については、訓練等を通じて検証・検討します。
291		ペット避難の受付時の同伴人数の設定。	
292		（ペットについて）面積に応じ何匹程度収容できるのか、予め基準が示されると運営する際にイメージが付きやすい。	
293		「ペット登録台帳」にワクチン接種済みかどうかの確認事項を追加してはどうか。あくまで飼い主の自己申告だが、万が一事故が発生した際には、ワクチン接種済みかどうかで治療方法等が変わる可能性があるため。	
294		大型犬はケージに入らないがどう対応すればよいのか。また、外に繋がると雨が降った場合や嘔みつくなどの問題等の問題も考えられる。	
295		ケージに入れられない大型犬はどのような対応とするのか。	
296		ケージに入らないような大型のペットを連れてきた際にはどう対応すればよいのか？	
297		ペット同行者がおりに入れてペットを連れてこなかった場合はダンボール箱に入れるか？（予備のおりは無い）	
298		ペット同伴者について、排泄物等飼い主が管理するとなっているが、長期戦になった際、周辺で悪臭や衛生的に問題になるのでは。	
299		北ノ台小学校や第三小学校ではペットはプール更衣室で預かることになっており、少なくとも雨、風、日射は避けられるが、大町にはプール施設はない。野晒し状態で受け入れた場合、ペットの健康状態へ悪影響を与える恐れがある。また預かり時に当然飼い主との間でトラブルが発生する可能性も高い。少なくともペットの脱走防止柵やテント等の準備は必要と考える。	
300	調和小学校の避難所利用計画では、ペットの避難場所について、一時校舎内とし、準備が整い次第、外のテントを活用することとしている。テントを何処から運ぶか等も予め利用計画に記載しておいた方がよい。（調和小学校）		
301	ペットの保管場所が多目的グラウンドとなっているが、多目的グラウンドは、受付スペースや炊き出しスペースなど他の用途で使用した方が有効的である。ペットについては体育館と多目的グラウンドの間、テニスコート（柵がある）、SHC事務所の庇の下など他のスペースに変更した方がよい。		
302	正門に「ペットはこちらへ」の案内を掲示する。すべてを総合案内で振り分けようとせず、避難者が視覚的に判断できる掲示が必要（校内に掲示に活用できる掛け軸がある模様）。総合案内を上記のとおり変更した場合は、東昇降口においてもペット受け入れが可能となる。		
303	避難所利用計画図にペット（予備）として示された場所は更衣室ではなく機械室であるため、図示する場所を修正する必要がある。		

番号	項目	意見等	検討の方向性等
304	車両避難	令和元年台風第19号の経験を踏まえ、車両での避難の可否を避難所で判断することは非常に難しいという意見が学校教員を含めて多数あった。昨年度、総合防災安全課が府中市と協働し、東京都や市内事業者と協議を重ね、基地跡地や植物公園に車両避難できるスペースを確保しており、車両の浸水被害等については課題解決に向けて取り組んでいるが、実際に大規模災害発生時に、車両で避難された要支援者の家族に避難所敷地内に駐車はできないと明言しにくい状況も想定される。当然ながら、臨機応変に判断を行う必要があるが、そういった車両を受け入れることとした情報は直ぐに拡散され、近隣から車両避難が集中することが想定されることから、本部等で避難所における駐車可能スペースの状況や隣接する避難所を勘察した総合的判断が必要となるケースも想定する必要があると感じた。	避難所への避難については、徒歩を原則としておりますが、風水害時の早めの時間帯における要配慮者の避難については、車両による避難ができる避難所を指定し、市報・市のホームページ等を通じて周知しています。車両による避難ができる避難所における訓練を通じ、車両避難時における課題の把握、改善について検討します。
305		車で来校の対応などは、災害の状況により臨機応変に対応するしかないとの結論に至った。総合体育館に車避難所を設置するとの情報もあり、確認し全体で情報を共有することが必要である。	
306		車での避難についても、市として共通対応を出しておくべきであると考えている	
307		要配慮者が車で避難してきた時の対応方法を考える必要がある	
308		車での避難者があつた際の車の乗り入れや駐車スペースの確認も必要。	
309		車で来てしまった方への案内をどのようにするのか。発災時が暴風雨の場合、車で来る方も想定される。	
310		車で来てしまった方への案内をどのようにするのか。暴風雨の中の避難であれば、車で来る方も想定した方がよい。	
311		車で避難された際、車に対応できる施設を案内するが、人の命が優先のため、校庭にできれば入れる方が安全ではないか。	
312		自動車での避難の対応を市として統一的な対応をする必要があると考えている	
313		特別な理由がない限りは車で来ないように、市全体として市民に周知したほうがよい	
314	様式関係（避難者名簿・健康チェックシート）	避難者に記入してもらおう避難者名簿の記入例があると記入しやすいと思う。	避難者名簿、健康チェックカード等の様式等については、地域の方と協働による訓練を通じ、検証したうえで、検討する必要があると考えています。
315		避難者名簿の記入例など、見本の掲示ができるとうい。	
316		各書類に提出の必要の有無、提出のタイミングを記載した方がよい。	
317		配布物を渡す用紙に健康チェックカードを提出しなくてよいか否かをあらかじめ記載しておくとう分かり易いと思う。	
318		受付や案内係が説明しなくてもいいように、避難者名簿や健康チェックシートに説明書きがあつた方がよい。	
319		健康チェックカードの取扱い。毎日の検温のやり方は？保管は各自持ち？どんな時に使用する？といったことをいちいち口頭で説明できないため、裏面に使い方を印刷したり、掲示できるようなものがあるとよい。	
320		避難者に配布する各様式に「手元保管用」「受付提出用」と大きくわかるようにしてもらいたい（避難者が何を提出したらよいか理解できるようにする。）	
321		受付で「避難者名簿」などの書類を配布するが、避難者が保管する書類と記入後に受付に提出する書類がある。書類の右上に「配布」、「記入後提出」などと記載した方が、避難者が提出する書類が分かりやすくなる。	
322		避難者に配布する各様式に「手元保管用」「受付提出用」などと大きくわかるように書いてほしい（避難者が何を提出するのかわかりやすくする）。	
323		体調管理のチェック表は、体温計を持参される方が多くいることが考えにくい。また、検温時に熱が上がっている場合にどうするのかを記載した方がよい。高熱で申し出をしてもらつた際に、何度以上の場合に申し出てもらつたのか明確にする必要がある。	
324		健康カードは、来た人すべてに1枚渡すのを忘れないようにする。	
325		回収する用紙は名簿1枚だが健康チェックカードを誤つて回収しそう。	

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等
326	様式関係 (避難者名簿・健康チェックシート)	避難者名簿の氏名欄は、フリガナを書く欄と漢字の欄の二段にした方がよい。(綴るファイルが名前に分けることになっており、今の様式だとフリガナを書き忘れる場合が想定され、誤って違う場所に綴ることが想定されるため。)	避難者名簿、健康チェックカード等の様式等については、地域の方と協働による訓練を通じ、検証したうえで、検討する必要があると考えています。
327		被災者名簿に年齢が書いていない場合、収容者名簿の内訳が書けない。収容者名簿に人数を記入する欄が必要。併せて区画使用数の記入欄も必要。	
328		被災者名簿は代表者、収容者名簿は世帯主となっているので、両方代表者にした方がよい。	
329		避難スペースは区画ごとに番号を割り振り(例:A1など)、誰がどこに避難しているかを分かるようにしたほうが良いと感じた。また、その避難場所を避難者収容名簿に書く欄を用意してほしい。	
330		区画毎に附番することで管理がしやすくなるのではないかと。避難者名簿に区画番号や避難教室名などを記載する欄を設けたらどうか。	
331		受付名簿は個人情報として提出を拒む場合も考えられる。また、受付名簿(避難者)と区画場所がリンクするよう番号を付番し管理できると良いのではないかと(避難者の名簿未提出者の把握可)。	
332		受付でアレルギー対応について、名簿に記載欄があったほうが良い。	
333		受付名簿(避難者)と避難区画場所をリンクできる番号を付けることで管理はできないか(どの区画・避難者が名簿が未提出かわかる)。	
334		被災者名簿表面は複数人対応だが、裏面のアレルギー等の記入欄は1人分しかない。裏面も複数人対応できるようにすべき。	
335		「避難者名簿」に食物アレルギー、動物アレルギー、喘息等の特記事項を加えてもよいのではないかと。	
336		受付時に使用する書類について、実施の流れに沿った様式の見直しが必要である。	
337		受付時に配布する用紙を両面印刷する等。なるべく少なくすることを考えるべき	
338		様式4の「避難者名簿」の網掛け部分が読みにくいので、網掛けなしの方がいい。	
339		受付名簿の網掛けが見にくい。高齢者対応のため網掛けがない書式にすべき	
340		書類提出時の混乱を軽減させるために、書類ごとに色を分けて視覚的にわかりやすくした方がよい。	
341		書類提出時の混乱(早めに提出が必須のもの、落ち着いたら提出するもの、提出不要のものがわかりづらい)を軽減させるために、書類ごとに色を分けて視覚的にわかりやすくした方がよい。	
342		避難者名簿に2穴をあけてほしい。ファイルに閉じるのに。	
343		受付で使用した名簿用紙は、ファイルすることになるのであらかじめパンチ穴をあけておいてほしい。	
344		名簿をファイルに閉じこむのであれば穴あけパンチが必要。	
345		避難者名簿をキングファイルに綴ることになっているが、書類をパンチする文房具が配備していない。	
346		避難所収容者名簿にパンチ穴が開いていなかった。個人情報にもなるため格納しやすい状態にしておいてほしい。	
347	避難者名簿をキングジムに綴る際、穴が開いていないため、最初から穴をあけておいてほしい。また、念のため穴あけパンチも保管しておいてほしい。		
348	受付簿は、1日から2日の短期避難の場合は不要ではないのか。長期避難時にした方がよいのではないかと。		
349	名簿をファイルに綴る→収容者名簿に転記では効率が悪いので、収容者名簿に転記したものをファイルに綴る運用が良い。		
350	被災者名簿は、1世帯(1グループ)1枚、健康チェックカードは人数分なので渡す際に手間がかかる。被災者名簿回収時に記載人数を見て健康チェックカードを渡す等の運用を検討すべき。		
351	避難者収容名簿は一冊しかないが、体育館以外の各教室でも分冊のようなものを用意して管理する必要があるのではないかと。		
352	避難所収容者名簿はあったが、避難者名簿がなかった。または見つけることができなかった。		

番号	項目	意見等	検討の方向性等
353	QRコード	QRコードの対応ができない方を考えると、総合案内でカウントをとった方がよいのか。	QRコード（避難者受付・情報共有システム）については、各避難所の避難者数、混雑状況等を把握するとともに、その内容を市のホームページにおいて周知するため導入しました。避難者がスマートフォン等、QRコードを読み取る機器を持っていない場合等の対応について検討します。
354		QRコードの読み取りタイミングを明確にした方がよい。しかし、スマホがない方や読み取り方法がわからない方もいらっしゃるの、有効なのか疑問あり（実際の避難者数と登録者数の不一致が生じる）。	
355		スマホではQRコードは読み取れましたが、ブラウザが開けないという事象がありました。	
356		2次元コードについての説明を増やしてほしい。どういう状況になると通知が来るのかが市民目線でわかるようにしたほうがよい	
357		QRコードで登録後、避難状況の分かるページのリンクが画面になかったため、URLを手打ちした。すぐにページに飛べるようにしてもらえると便利。	
358		市民への配りものが多い。特にQRコードなどはゴミになるし壁に提示してもよいのではとの意見があった。	
359		帰宅者用QRコードもあるとよいのではないかと。	
360	鍵の開錠等（体育館・校舎・校門等）	防災備蓄倉庫に格納されているセコムキーは、体育館と校舎が共通のものなのか不明。初動要員も校舎に入れるようにしておかなければならないとの意見があった。	現在、防災備蓄倉庫の中には、体育館（セコムキー含む。）・校門の鍵が保管されており、防災備蓄倉庫の鍵については、初動要員に貸与しています。校舎の鍵（セコムキー含む。）については、現状では、防災備蓄倉庫に保管していないため、校舎など体育館以外の鍵の在り方については、防犯上の課題や避難所の円滑な開設等の観点から、検討します。
361		防災備蓄倉庫カギ一式の防災時必要なカギ一式の確認を再度すべき	
362		ペット避難所はプール更衣室建物になっているが、もし奥の更衣室等も使用するならば、職員室にある鍵が必要となり、学校職員がいないと開けることができない。学校職員は初動要員と同時に参集できない。実際に避難所として使用する場所をあらかじめ明らかにし、その場合に必要となる情報を整理する必要がある。	
363		ペット避難場所であるプール・更衣室の鍵がない（学校に借りに行くしかない）	
364		プール更衣室、体育館など3か所がカギ貸出し中であかなかった。常に災害時など瞬時にカギが使えるよう用意してもらいたい	
365		防災行政無線のある放送室が施錠されており、初動要員も鍵を所持していない。鍵を保管しているSHCからも、備品保管という意味では理解できるが、これではいざという時に使用できないのではと指摘を受けた。	
366		体育館の防災無線が体育館放送室にあるが、カギがかかっておりカギが校舎内にあった。防災備蓄倉庫内にカギがなさそうであったが、学校に入れない時、放送室の防災無線を使うときはどうするのか。	
367		体育館内の鍵BOXに校舎に入るための鍵が入っていなかった。	
368		体育館内の無線機を保管している部屋について、昨年の改修工事でドアが取り替えられていた。防災備蓄倉庫内にあったスペアキーは改修前のドアのもので開錠できず、副校長に確認して判明した。学校の改修工事等で鍵の交換が必要な場合など、情報共有できるよう対応が必要と感じた。	
369		体育館・校門以外の鍵は校舎内（主に職員室）にあるため、校舎も早期に解錠する必要がある。校舎の鍵を持っている職員がすぐに参集できない場合に備え、教育総務課でも鍵を持っておいた方がよい。	
370		停電時の対応について、校舎に入るための玄関の鍵がセコムカードのみでの開錠しかできず、シリンダー錠が見当たらなかったことから、学校用務員に確認してもらうこととなった。	
371		校舎の鍵等必要になる鍵を一式防災備蓄倉庫にしまっておいてほしい。	
372		開錠方法が校門しか載っていない。2階の校舎の開錠方法も載せた方がよい。	
373		正門のカギは防災備蓄倉庫に入れておいてもいいのではないかと。	
374		施錠されている鍵の保管場所を共有しておく必要がある。	
375	現状、避難所職員だけでは体育館・プール等、必要施設が開けない状態のため、鍵の手配は早急にご対応いただきたい。		

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等
376	防災 備蓄 倉庫	倉庫内はもっと整理したほうがよい。	防災備蓄倉庫内の配置図については、原則、新しい備蓄品や資機材を格納する際に更新しています。防災備蓄倉庫の設置場所、倉庫内の物品の配置等については、各学校ごとに状況が異なるため、訓練等を通じて職員が確実に把握するとともに、地域の方と共有することで、避難所開設時に円滑に対応できるよう努めます。
377		備蓄倉庫が2か所あり、どちらに何を格納しているか判り難い。	
378		コンテナ内の物品が分かりづらかった	
379		手前に物品が突っ込まれているような印象を受けた。定期的な物品の全部出し及び配置の確認が必要。	
380		備蓄倉庫が複数あるので、食材と器材に分ける。	
381		備蓄倉庫が2か所に分かれていたこともあり、どこに何が格納されているのかを確認するのに時間を要した。	
382		倉庫の中の物資のありかがわかりづらかった。	
383		三小には備蓄倉庫が2つあるが、応急給水用資器材（黄バックと青バック）が別々の倉庫に分かれているため、一緒の倉庫にあった方がよいのではないかと意見があった。（第三小学校）	
384		備蓄倉庫の配置について、食べるものとトイレで使用するものとは、衛生面を配慮し、倉庫を分けてはどうか	
385		防災備蓄倉庫の物品について、避難の早い段階に必要な物品についても奥に置いてあるものがあり、取りづらい。（トイレトペーパーやブルーシート）	
386		備蓄倉庫の格納場所が分かりづらかった。棚には格納物の名称シールがあると誰でも分かりやすい。	
387		備蓄倉庫のテントやベッドが購入時のままであることから、箱の名前も分かりにくく探すのに時間を要した。箱には何が入っているか明確にしないと地域住民にも探しにくい。	
388		備蓄倉庫内の物資を写真に撮って可視化する。	
389		機材等については、中が見やすいように事前に写真を撮って貼っておいたほうが、良いのではないか。（ダンボール等の中身がわかりやすいように（ラジオの乾電池など））	
390	備蓄倉庫から物品を探しづらい。壁に「ABC」を貼って非常時にもわかりやすくした方がよい。		
391	物品の配置が不明瞭で分かりにくい。「食・トイレ・寝具・道具」等のカテゴリ別に分け、大きい表示板を設置してはどうか。		
392	備蓄倉庫リストが少し見づらい。（カテゴリの中で五十音順など他の並べ方も検討してほしい）		
393	備蓄倉庫の備品一覧表が小さすぎて見づらいため大きく表示するべきである。		
394	北側の防災倉庫の物品の保管場所を示す表がないので用意してもらいたい（緑ヶ丘小学校）		
395	防災備蓄倉庫に書類一式になっていたが、受付ごとにあらかじめ分けておく方がよい。		
396	書類等は、電話機が入っていたBOXのようにケース等に入れ、雨天時でも運べるように工夫して欲しい。		
397	防災倉庫の紙類（名簿等）はクリアケースなどに入っていた方がよい。		
398	袖机に、色々な書類が入っており全体的にわかりにくい。また、紙袋に表紙（束）には、縮小版で良いので書式を貼付して欲しい。		
399	避難所受付の際に4種類の配布物があったが、4種類ケースを用意することで書類が整頓され、配布する際に配付漏れ・重複配付等が起きにくいのではないか。		
400	避難所開設時は、防災備蓄倉庫内の袖机（書類等が格納されている）をそのまま移動した方がよい。		
401	防災備蓄倉庫の扉に貼ってある備品の配置図と、実際の保管場所が異なるものが散見された。そのため、配置図の更新が必要ではないか。		
402	簡易ベッドとテントが、一覧表上は防災倉庫No. 27に保管されていることになっているが、実際はNo. 41（D下）に収納されていた。表の修正が必要。		
403	防災倉庫の天井にランタンを掛けるフックなどを取り付けてほしい。		
404	倉庫に電源はあるのか？暗くて夜の作業は難しいと思う。		
405	防災備蓄倉庫について、照明が暗いため、入口付近に別途懐中電灯が必要ではないか。		
406	夜間に備えて倉庫内の照明設置が望まれる。		

番号	項目	意見等	検討の方向性等
407	防災備蓄倉庫	備蓄倉庫の一部の扉について、男性職員が力を込めてやっと扉が開く状態。改善を求めたい。	防災備蓄倉庫内の配置図については、原則、新しい備蓄品や資機材を格納する際に更新しています。防災備蓄倉庫の設置場所、倉庫内の物品の配置等については、各学校ごとに状況が異なるため、訓練等を通じて職員が確実に把握するとともに、地域の方と共有することで、避難所開設時に円滑に対応できるよう努めます。
408		コンテナ型の倉庫でないため、スペースに余裕があり物品の移動がしやすい利点があるが、大きな地震が来た際は荷崩れをしてしまう恐れがあるため、固定方法を検討する必要がある。(大町スポーツ施設)	
409		体育館内の防災倉庫に防災倉庫が何も入っておらず活用されていない状況である。校庭の防災倉庫は距離が遠く備品も大きいので、運搬手間を考慮すると校庭の防災倉庫から体育館内の防災倉庫へ備品を移すなど優先的に利用した方がよい。	
410		備蓄倉庫から体育館まで距離があるため、雨天時のどのように備蓄品を搬入すべきか検討が必要だと思う。少しでも備蓄品の一部を体育館に保管できるとよいと思う。	
411		やはり、何がどこにあるかを把握しておくことが必要。	
412		避難所利用計画図に、防災備蓄倉庫の位置を図示すべきとの意見があった。	
413		大きい備品が入っている校庭の防災倉庫の取出し扉の前スペースが狭く、搬出が難しい。搬出できたとしても、木が茂っていて邪魔になることや、扉前スペースにある校庭出入口扉と防災倉庫の間にネットがあり、出入口扉が使用できない(出入口扉に南京錠がかかっているが、防災倉庫内の鍵では開けることもできなかった)。	
414	備蓄品(簡易テント・簡易ベッド・無線・台車・照明等)	テントは、感染防止及びプライバシー配慮のために大変効果があると思われるが、3つしかなく、誰に何を根拠に使ってもらうのか、判断に迷うところである。	避難所運営における備蓄品については、予算の範囲内で優先順位の高いものから順次導入しています。数量や使い勝手について充足できていない場合もありますが、各避難所においては、限られた資機材の中で運用することとなります。備蓄品の新規購入に際しては訓練を通じて出された意見等を参考に検討します。
415		テントは3つしか用意されていないため、残りはどのようにプライバシーを保つか検討する必要がある。	
416		簡易テントは着替え場所等として活用することが想定されるが、高さが低いので、舞台の上等、見えにくい場所に設置したほうが良いと感じた。	
417		テントは組立てにコツがあるので二人以上で行った方がよい。	
418		テントをセットするのは簡単ではあったが、片付ける際、たたみにくい。	
419		テントが設置しやすかった。	
420		現状ではテントの数量が避難想定人数に比べてあまりに少ないと思った。	
421		デジタル防災行政無線はできるだけスムーズにつながるように整備していただければと思います。(頻繁に圏外になり、使用できなかった)	
422		防災無線がなかなかつながらない。	
423		デジタル防災行政無線の回線数を増加すること、通話時間の増は必要と考える。	
424		リヤカーが、1か所の倉庫しかないが離れた倉庫のため、各々必要である。	
425		倉庫にあるリヤカーを使いたい。使ってよいか分からなかった。	
426		リヤカーは防災倉庫にあるが、倉庫の設置位置の都合上そこから直では使えない。	
427		重量のある備蓄品を搬出する時に、備蓄倉庫のリアカーを活用すると運搬がスムーズになる。	
428		長机など備品運搬用にリヤカーが必要	
429		台車は少なくとも5台は必要。	
430		現行の一般避難導線を確保するのであれば、道幅も狭く、夜の照度は極端に低くなると想定できるため、投光器の設置、足場にガラスの破片が散らばることを想定し、マットを敷くなど対策が必要。	
431		停電時のための照明が不足している。	
432		夜を想定しカギのある所に照明が必要では。	
433		(総合) 受付にはテント、照明等が必要。	
434	投光器を増やす予定はあるのか?		

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等	検討の方向性等
435	備蓄品 (簡易テント・簡易ベッド・無線・台車・照明等)	投光器が一台あるが、どこに設置するのがよいか見解はあるか？入口、校庭、総合受付、一般受付等、複数設置候補があるが、どこがよいか？	避難所運営における備蓄品については、予算の範囲内で優先順位の高いものから順次導入しています。数量や使い勝手について充足できていない場合もありますが、各避難所においては、限られた資機材の中で運用することとなります。備蓄品の新規購入に際しては訓練を通じて出された意見等を参考に検討します。
436		投光器の取扱説明書が英語表記で、かつ、簡易なため、操作しやすい説明書が必要。	
437		発電機の箱に、保証書が貼付してあった（取扱説明書以外の書類は、別途保管した方がよい）。	
438		備品として、様々な用途に使える「ビニール袋」を多めに用意してほしい	
439		今回の2mの区画を分けたが、区画分のパーティションを用意する必要がある。	
440		体育館内（第2体育館含む）パーティションを設置して欲しい。	
441		感染症に備え、備蓄倉庫にパーティション（避難所内の仕切り）を常備すること	
442		拡声器があったほうがよい（案内役などが使えるの）。	
443		風雨や人で大声で話しても聞こえにくいので、拡声器があった方がよい（案内役の人員も使用可）。	
444		受付設営時の長机について、今回は事前に準備していたが、平時は体育館にはないとのこと（学校では十分な数を持っていない）。体育館や備蓄倉庫に常備しておいた方がよい（選挙用と兼用してはどうか）。	
445		防災備蓄倉庫内に受付（総合受付、要支援者、発熱者、ペット）用の机を準備し、利用場所を指定しておいた方が初期に混乱しなくてよい。	
446		乾パンなどの入れ物を、ダンボールから2次利用できる一斗缶での配置はどうか。避難所でバケツとして使用できる。また、暖をとるストーブにもなる。	
447		冬期の避難所開設に備え、一斗缶と薪を用意すること	
448		わかめご飯など大袋タイプを炊き、職員らがおにぎりを作り、避難者に提供するのではなく、個々に配付できるような品物に変更した方がよい（台風19号体験談）。コロナ禍、衛生面を考え、時代にあった物品の見直しが必要ではないか。	
449		わかめご飯は、大袋タイプをすでに個々人に配布できるような品物に変更してほしい（台風19号の避難所経験者より、炊き出して大袋のもので「おにぎり」を作り提供。コロナ禍、衛生面を考え見直ししてほしい）。	
450		立て看板として使えるスタンドがあると便利である。	
451		段ボールや備品を切る文房具（ハサミ）があると良かった。災害時、職員の自前のものがあるとは限らない。	
452		雨の場合の備えはあるのか、傘立て等。	
453	台風19号で避難所開設対応をした職員の経験と比較してどうなのかを中心に適宜意見が出てきた。また、時代に応じた備蓄品が増えている一方で、従来から備蓄していたもので改善すべきものの入れ替えもすべきと意見があった。		
454	乳幼児への配慮として、備蓄品に哺乳瓶があるが、時代に応じたものに変更してほしい。具体的に従前からのものはガラス瓶のもののため、プラスチック製で使い捨て（衛生面を考慮）にするほか、粉ミルクも大型の缶ではなく、固形のようなすでに小分けしているものに変更してほしい。		
455	若葉小学校はマンホールトイレがない。四中に行かなければならないのはストレス（混雑状況も見えない）。若葉小に設置するまでの間、トイレの対応をどうすべきか考えてほしい（食とトイレはセットで考えるべきだから）。		
456	B班が段ボールを指で開けていた。文房具があるが職員室から借りることになる。		
457	防災備蓄倉庫内の備蓄品の使い方をレクチャーしていただける機会があればよいと思いました。		
458	体温計の使い方が良くわからなかった。こめかみで測るタイプのようだが、接触しないといけないのか。髪の毛は除けるのか。温度測定が不安定すぎる。リーダーセットに入っていた体温計は説明書が見当たらなかった。		

番号	項目	意見等	検討の方向性等
459	学校施設・備品等	避難者が校舎内を利用する際の備品の取扱い（特に机・椅子等）	校舎、体育館を避難所として使用する際の、設備・備品の活用については、避難所閉鎖後の学校教育活動への支障等の課題を踏まえたうえで、検討します。
460		校内（特に体育館内）の放送設備を担当者が使用できるようになっていた方がよい。	
461		長机等、学校の備品の活用を容易にできるようになればよい。	
462		消毒液や検温器等、学校備品も臨機応変に活用できると良い	
463		校内の使えるトイレを事前に明らかにしておいてほしい。	
464		校舎の中の何が衛生面で利用可能なのか（教室やトイレ・手洗い場等）がわからないので、どのようなタイミングでどのように利用が可能なのか事前に把握し参集者に周知した方が良いのではないかと	
465		体育館の管理室（電気スイッチ等ある場所）に扉が3カ所あるが、2つが備品で埋まっており開閉できない。	
466		体育館が狭いので、平常時は跳び箱やマットを体育館の隅に保管している。倉庫に格納する際は、跳び箱を全て移動させた後にマットを上手く跳び箱の上に重ねることにしているが、状況に応じて、雨で濡れないよう体育館の外で軒がある箇所に移動しても良い。	
467		学校体育館は避難所として停電時対応の設備（ポータブル発電機を利用したアリーナ照明やコンセントの利用、都市ガスによるエアコンの自立運転など）を整備しているため、設備の周知や利用方法のマニュアル化、使用訓練ができれば良いと感じた。（数年前はマンホールトイレの組立訓練を実施したとのこと）	
468		体育館や校舎の非常電源は無いとのことで、夜の停電時の場合初動要員は、何らかの明かりを持参することを確認した。	
469		井戸水を飲料水として使用可能にすることはないのでしょか。	
470		避難所の閉鎖後、速やかに学校としての機能を復旧できる様、考慮願いたい（動物を教室等に入れてしまったりすると、児童のアレルギイが発症する可能性もある）	
471		体育館が満員の時ステージの上の空間が空いていると指摘されることが予測されるがステージ上は強度がないので禁止にしたい。（若葉小学校）	
472		特設公衆電話	
473	緊急開設電話を設置する場所は、受付の列と重ならないよう留意するべき。		
474	特設公衆電話を体育館前に設置すると、避難者の導線が遮られるので迂回させるほうがよい。		
475	避難所の入口脇に特設公衆電話が設置されているため、避難所の受付に並ぶ人と特設公衆電話を掛けるために並ぶ人の導線が混在しないように留意する必要がある。		
476	特設公衆電話の位置が体育館の避難所入口と同じ場所であったため、避難所入口の位置を変更する必要がある。		
477	特設公衆電話のボックスは位置も高く、扉が堅かったためなかなか閉めることができなかった。		
478	特設公衆電話の配線ボックスの設置場所がよくない（鍵開けのための手が入りにくい位置）。		
479	特設公衆電話の箱のふたが柱のすぐ隣で開きにくい。箱の位置を変えれば、作業がしやすくなる。		
480	緊急開設電話の机が必要。		
481	電話機の配線図が必要（違うところに配線すると通話できない）		
482	公衆電話設置場所は発熱者の導線と重複する。コードをもっと長く伸ばせるか？総合防災安全課が推奨する設置場所はあるか？NTTに録音する電話番号は第二小学校代表番号でよいか？		

令和3年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

番号	項目	意見等
483	課題・要望以外の感想	台風19号にて富士見台小学校で避難所を開設経験がある職員から多くの実体験の話があったため、非常にわかりやすく、理解が出来た部分が多かった。
484		今回の訓練に台風19号を経験した職員がリーダーであったことが、何より訓練ではあるが、より実戦のイメージが持てた。
485		訓練をとおして職員が思ったことを率直に話せた。訓練なしに当日設置を行うことは難しいと実感したという声が多かった。定期的にこのような訓練を行っていくことの必要性を感じた。
486		参加前は避難所運営に対する不安を感じていたが、訓練に参加することで不安が軽減された。
487		実際に訓練でシミュレーションすることで、災害時の人の動き等がイメージでき、改善が必要と思われることが多く課題として挙げられた。改善できることから対応し、発災時の混乱要素を少しでも減らすことができれば有用な訓練だったといえる。
488		感染症対策を踏まえた避難所開設訓練について、「発熱者と一般避難者と受付と動線を分け感染のリスクを減らす」「手指消毒やマスクを徹底する」「避難所受付情報共有システムの活用により濃厚接触者の可能性を通知し感染拡大を予防する」等、参加職員と学校関係者と情報の共有ができたと思います。
489		感染症対策を踏まえた避難所訓練としては、日頃からすでに市職員は感染対策を踏まえてそれぞれが業務をおこなってきたことから、その理解も対応も大変スムーズであった。
490		二次避難所部会で調布特別支援学校で開設訓練を行った際は、感染防止対策についての説明が訓練の流れの中でもあり、意識して訓練を行うことが出来ていましたが、今回の訓練ではどこまで意識できていたかなと思いました。
491		今後暫くの間は感染症対策がスタンダードになると感じた。
492		今回は地域住民が来場しなかったため、地域の方の意見を聞くことはできなかったが、印象としてコロナ禍での避難は現実問題として難しいと感じた。
493		「発熱者等の動線を見直すこと」、「感染者に対応する職員はビニールコート等を着用すること」、「避難スペースを設置する際に、2メートル確保する壁(位置)を変更すること」等の意見があり、それぞれ改善を図ることとなった。
494		今回の調布小学校での訓練は、学校側との調整も含め、避難所リーダーがしっかりと準備をしてくれていたため、参加した職員もスムーズに取り組みしていました。
495		定期的を実施することで、避難所開設等に係る知識が定着してくると考えるので、できる限り同様のメンバーで、繰り返し行うことが望ましいと思う。また、繰り返し実施することで、自分事としての意識の向上にもつながるのではないかと考える。
496	事前準備から当日の訓練、また実績報告まで担当所管の負担は大きいものと推察します。今回数年ぶりに参加しましたが、感染防止対策などもありこれまでの知識の大幅な更新を必要としました。これだけ大人数を動員する事業なので細部に至るまでの対応は不可能だと思います。少しずつできることから改善対応することで安全・安心な避難所開設及び運営につながることを期待します。	
497	避難所担当職員リーダーが事前によく研究し、やるべきことを把握していたことから、メンバーをよく統率し、効率的に整然と効率的に訓練が実施できた。	
498	昨年7月の訓練では、参加した市職員の意識にも課題が散見されたが、本日の当該校に関しては、皆意識も高く熱心に参加していた。	
499	調布北高校のリーダー及び参集者は、担当の派遣先でなかったのですが、率先して訓練に参加していただいたことから、大変有意義な訓練となりました。	
500	全体を通して、物の保管場所の確認や、避難所開設のイメージを持つことができて良かった。	
501	初参加者が多かったため、ロールプレイングによる貴重な経験が出来て有意義であった。	
502	ロールプレイングでいろいろな避難者を想定してできたので実際の時に繋げていきたい。	
503	実際の時にはマニュアルどおりにはいかない。ただ、今回の訓練でイメージが沸いた。	
504	避難所運営についてもイメージしておきたい。	
505	備蓄環境(倉庫内照明の照度)、開錠方法(セコムカードの取扱い)、避難者受け入れ(受付場所・方法、ペットケージの置き場所、体育館までの動線等)、対応職員の人員体制(少人数しか参集できなかった場合の対応)など、非常に熱心に議論していた。	
506	避難者導線の問題、発熱者の避難場所(教室4階)等への疑問など活発な意見交換が行われた。	
507	職員からは、実際に手足を動かして感じたことについてさまざまな意見が出され、そのことについての意見交換が行われ、とても有意義な時間となっていた。	
508	全体的に取組状況を踏まえて、全ての参加者が主体的に活動する中で、市民の安全・安心の確保に向け、自由闊達な意見交換ができていた。	
509	主体的に意見を述べる職員がおり闊達な意見交換が行われた。	
510	積極的に意見する様子が見られた。	
511	あまり、意見は出なかったが、自分が本記録簿に記載されている内容を指摘する程度で、概ね良好であった。	
512	避難所担当職員、初動要員ともに入れ替わりが考えられること、また、特設公衆電話やMCA無線の不具合の確認などのため、一年に一度はこうして実際に避難所開設訓練を実施し、経験することが大事だと思われる。	
513	正門、体育館、プール横の更衣室の鍵の解除方法が分かったことが良かった(セコムの解除方法含む)。	

番号	項目	意見等
514	課題・要望以外の感想	目安の時刻設定があったが、毎年同じことを繰り返し、どのタイミングで参集しても、すぐ流れに乗れるようにする取り組みが大事と思う。
515		派遣管理職として何回か参加していますが、同じ避難所で訓練に参加したことがなく、避難所ごとの雰囲気の違い（避難所職員や教員の方の取組具合、習熟度など）を感じました。
516		調和小学校で訓練に参加した職員は、市役所職員・学校教職員とも意識が高く、非常に熱心に訓練に取り組んでいたため、改善の必要性を感じた部分はありませんでした。（調和小学校）
517		今回の訓練は避難所運営の一部であり、今回のテーマ以外の課題についてもマニュアル等を基に日頃から知識の習得が必要であると感じた。
518		状況によって対応が変わるので、臨機応変さが求められる
519		本番で臨機応変に対応するにはこのような訓練は大事だと痛感した。
520		今回は時間に余裕があったため、受付訓練を繰り返すことで改善点等を把握し、意見交換をすることができた。地域の参加で人数が増えると移動等に時間がかかることや、児童・保護者の避難所体験を実施する場合には時間内に終わられるか不安がある。
521		新型コロナウイルス感染症の影響で地域住民の参加はなかったが、落ち着いてできるという側面もあった。
522	地域の方がいないので、意見交換はなかったが、訓練時は、メンバーは一つ一つ丁寧に確認作業を行い、都度、質問が出されていた。	

